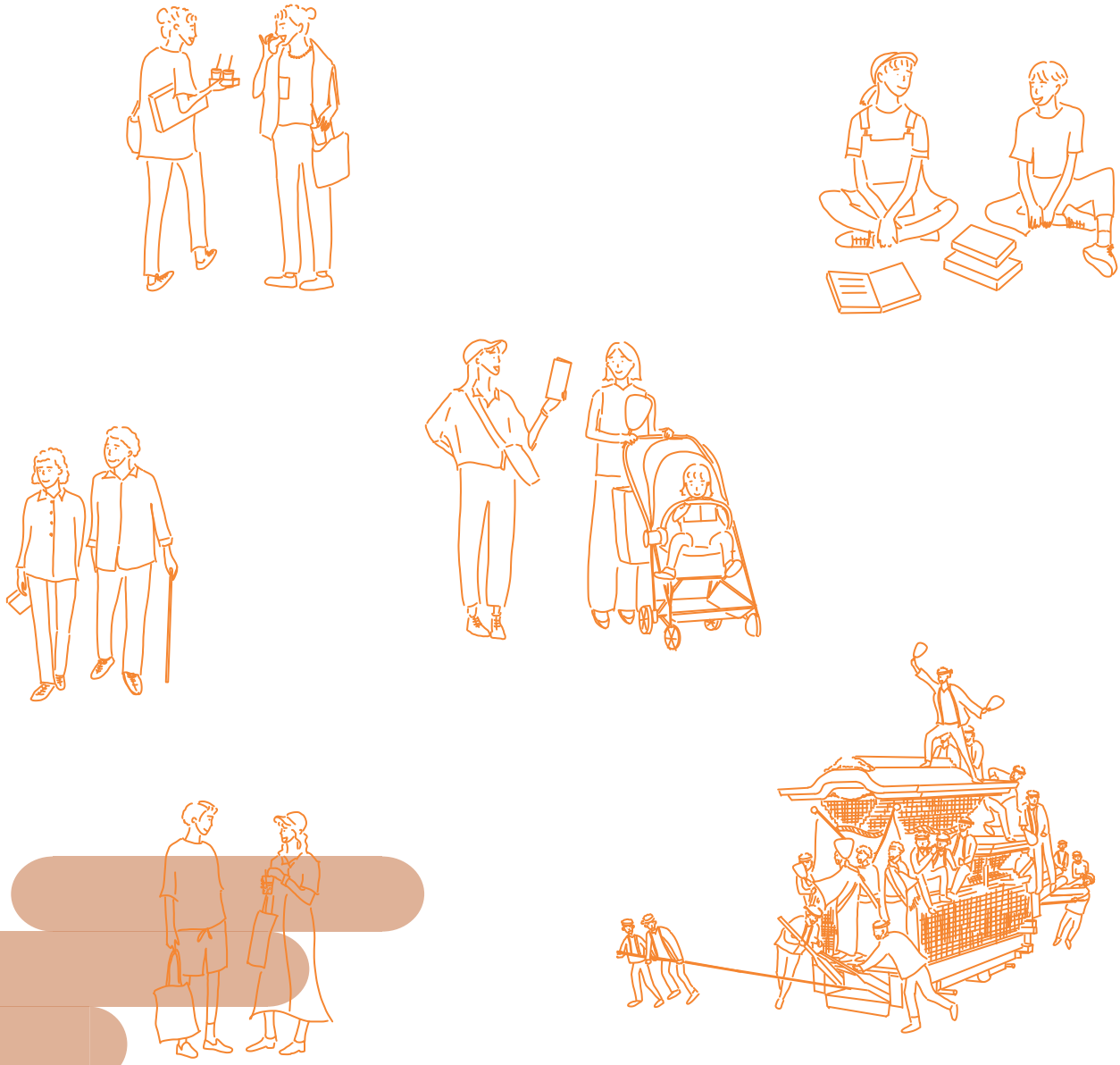
新図書館（本館）整備に向けた

令和５年度検討報告書



岸和田市教育委員会生涯学習部図書館

はじめに

岸和田市教育委員会では、令和５年２月、市制施行 100 周年を新図書館（本館）整備のキックオフの年と位置づけ、機運醸成に向けた記念シンポジウムを開催するとともに、これからの図書館に求められる姿を「岸和田市図書館のありかた」（以下「ありかた」という。）として取りまとめるなど、新図書館（本館）の整備に向けての取組を始めました。

「ありかた」では、令和５年度 以降の進め方として、全庁的な検討組織を立ち上げ、「ありかた」を基に、新図書館（本館）整備に向けての調査、研究を進め、立地場所の決定や施設整備の計画決定、基本・実施設計へとつなげていくことを記しています。

これを受けて、令和５年５月に政策決定会議の専門委員会として、「新図書館（本館）整備庁内検討委員会」を設置し、「複合施設の検討」・「立地可能場所」を中心に、調査、研究を行ってきました。

本報告書は、それら令和５年度の調査、研究経過をまとめたものであり、令和６年度以降、備えるべき機能や必要な施設、複合化の可能性や立地場所の決定等、新図書館（本館）整備に向けた取組を進めていきます。

令和６年３月

岸和田市教育委員会生涯学習部図書館

目次

1．立地可能場所の抽出 ―― P. 1

2．各立地可能場所の検証 ―― P. 2～P. 9

3．今後のスケジュール ―― P. 10

4．議事録 ―― P. 11～P. 21

参考資料

１．立地可能場所の抽出

新図書館（本館）の立地場所を決定するにあたっては、「ありかた」で示した４つの基本的な考え方を基に、総合的に判断することとしています。

新しい図書館のありかた

「人と人、情報がつながる知の拠点～よりあい、つながる、本の城～」/ 市民共創の図書館

立地場所の基本的な考え方

（１）公共交通機関などの交通利便性がよく、市内各所からのアクセスが容易であること
（２）他の公共・民間施設との複合化や併設が見込めること
（３）図書の整備を契機として、まちの賑わいづくりや、魅力創造につながることが期待できること
（４）必要な土地の確保が確実に見込めること

抽出した立地可能場所

Ⅰ. 現在地
Ⅱ. 福祉総合センター隣接地
Ⅲ. 南海浪切ホール
Ⅳ. まなび中央公園

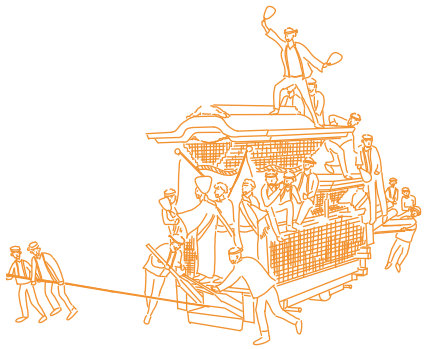
２．各立地可能場所の検証

検討委員会では、ⅠからⅣの４立地可能場所について、「ありかた」で示した４つの基本的な考え方を踏まえ、それぞれ調査・検討することとしました。

【立地可能場所Ⅰ】　現在地

都市中核地域で、歴史・文化ゾーンにあり、周辺には岸和田城や五風荘、自泉会館、だんじり会館、自然資料館、岸城幼稚園、市立公民館などの教育･歴史･文化施設があります。

【複合化可能施設例】　認定こども園



立地可能場所の特徴を活かす追加コンセプト

教育・歴史文化振興の拠点

・認定こども園との複合施設となれば、乳幼児をターゲットとした読み聞かせ専用の「おはなし広場」などを設け､乳幼児から本に親しむ環境を作ることができるとともに、読み聞かせが子どもの成長にどのように影響するのか等の調査分析も可能となります。

・家庭、学校、地域と連携し、学力向上に向けたソフト事業を充実させることで、子ども読書活動推進事業の拠点施設とすることができます。

・歴史・文化ゾーンの立地を活かし、地域資料、行政資料の保管・展示・閲覧・アーカイブ機能を充実させ、周辺の資源・機能との連携を図ることが可能となります。

交通の利便性やアクセスの容易性

南海岸和田駅から約 450m、岸和田港塔原線沿いにあり、交通利便性は高く、アクセスも容易です。ただし、車を利用したアクセスについては、駐車スペースが狭く、現状の図書館単独での需要も満たしていません。

他の公共･民間施設との複合化や併設の可能性

・図書館本館と岸城幼稚園の両方の敷地を合わせて 3,889 ㎡です。

・「岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画」で、隣接する岸城幼稚園を含めた４施設の再編による認定こども園設置が計画されていることから、認定こども園との複合化が考えられます。

まちの賑わいづくりや活性化への寄与

岸和田城や五風荘などに隣接しており、知の拠点である新図書館（本館）の整備は、歴史文化が薫るエリアの魅力向上に資することが考えられます。

一方、周辺が住宅地であり、大きな人流に接するエリアではないこと、敷地面積が限られていることから、賑わいをもたらすような民間施設の進出は難しいと考えられます。

必要な土地の確保

岸城幼稚園、図書館本館ともに市有地であり、新たに土地を確保する必要はありません。

【立地可能場所Ⅰ．　現在地　位置図】

課題

立地可能場所の中で敷地が一番狭いことが課題です。また複合施設となると、施設が現状よりも小規模となることが想定されるため、十分な読書スペースや蔵書スペースが確保できるかといった点も課題です。

なお、現在地での建替となれば、図書館本館の一時移転や機能継続のための方策を講じる必要があります。

【立地可能場所Ⅱ】　福祉総合センター隣接地

都市中核地域の都市中枢ゾーンにあり、本市の玄関口ともいえる南海岸和田駅に一番近い立地で、通勤や通学での鉄道利用者は多い状況です。駅東側は福祉総合センターのほか、民間の事業所や商店等が立地しています。

【複合化可能施設例】市立公民館・自然資料館・民間施設

立地可能場所の特徴を活かす追加コンセプト
中心市街地の賑わいを創出する人づくり・まちづくりの拠点

岸和田駅周辺の活性化は、本市全体の活力向上の観点からも極めて重要です。集客機能を付加した図書館を整備することで、新たな人の流れを創出し、この効果を近接する商店街をはじめ、中心市街地全体へと波及させることが考えられます。特に若い世代（子育て世代、学生など）を集客できれば、いきいきとした雰囲気の駅周辺づくりにつなげることが可能になります。

交通の利便性やアクセスの容易性

南海岸和田駅から約 330m、国道 26 号から約 750m と駅や幹線道路から近く、バスやタクシーの利用者にも非常に便利な立地にあります。駅周辺には駐車スペースも複数確保されているため、交通利便性が高く、アクセスが容易です。

他の公共・民間施設との複合化や併設の可能性

・敷地のうち、更地面積は 6,437 ㎡です。

・新図書館に必要な機能を持った近隣の公共施設としては、研修室、多目的室等を持った市立公民館や展示スペース、多目的ホールを持つ自然資料館があります。事業内容を考えると、この 2 施設との複合化は親和性が高いと考えられます。

・福祉総合センターには、訓練室やアリーナ、研修室、活動室、大会議室、講座室、工作室、諸芸室、会議室、交流室、和室、調理室などがあり、各施設の相互利用も考えられます。

・駅前に立地することから、民間施設との複合化も考えられます。今後、具体化する場合は、サウンディング調査などにより、民間のニーズを見極める必要があります。

まちの賑わいづくりや活性化への寄与

岸和田駅は１日の乗降客数が市内で一番多く、通勤や通学等で大きな人流があるため、これらを図書館へ呼び込めば、滞留人口が増えエリアの活性化につなげられると考えます。民間施設との複合化等も含め、人流を呼び込むための方策について、調査、研究が必要です。

必要な土地の確保

市有地であり、新たに土地を確保する必要はありません。

【立地可能場所Ⅱ．　福祉センター隣接地　位置図】

課題

都市中核地域の中枢ゾーンにあり、駅からのアクセスも良いことから、集客力のある民間施設との複合化も期待できますが、集客施設を新たに整備するためには、進入路の確保などの課題があります。

【立地可能場所Ⅲ】　南海浪切ホール

都市中核地域の交流・集客ゾーンにあり、レジャー施設や商業施設が複数あります。
また、旧岸和田港に接しており、岸和田市の西端に位置しています。

【複合化可能施設例】南海浪切ホール
※現施設をリノベーションしての活用を想定しています。

立地可能場所の特徴を活かす追加コンセプト
臨海部の賑わいを創出する産業・文化の交流拠点

・既存の文化施設や大学サテライトとの連携により、市民が自ら学び、活躍できる知的活動拠点として、相乗効果を生み出す交流拠点施設とすることが可能です。

・隣接する商業施設等と連携して、「学ぶ」「遊ぶ」「交流する」場を創出することで、子育て世代の定住促進にもつなげられます。

・隣接して商業施設があり、その人流を図書館に呼び込める可能性があります。

交通の利便性やアクセスの容易性

岸和田駅から約１ km の距離があり、公共交通機関はローズバスのみであるため、公共交通機関を利用したアクセス性は、あまり高いとは言えません。湾岸部に位置し、府道29 号大阪臨海線沿いの立地であることから、車によるアクセスは容易です。

他の公共・民間施設との複合化や併設の可能性

・現在、南海浪切ホールのあるエリアはショッピングモールや、体験施設などがあり、南海浪切ホール内には和歌山大学岸和田サテライトがあります。

・南海浪切ホール内に図書館本館を移転することで、文化芸術・生涯学習の交流拠点とすることができます。施設には大ホール、小ホールのほか、多目的ホール、交流ホール、研修室、会議室、食の交流室等があります。

まちの賑わいづくりや活性化への寄与

商業施設と連携することで湾岸部の賑わいを創出する産業・文化の交流拠点として整備することが考えられます。但し、賑わいを創出するには、南海浪切ホールを含めたエリア全体での検討が必要です。

必要な土地の確保

施設をリノベーションした上でのスペース確保となるため、新たに土地を確保する必要はありません。

【立地可能場所Ⅲ．　南海浪切ホール　位置図】

課題

都市中核地域にありますが、本市の最西端にあり、車以外の公共交通によるアクセスに課題があります。

また、南海浪切ホールは、「岸和田市公共施設等総合管理計画」では、民間活力の有効活用を検討するとされており、その点について留意が必要です。

【立地可能場所Ⅳ】　まなび中央公園

都市中核地域の生活・文化ゾーンにあります。
公園内には、文化会館や総合体育館、プール、テニスコート、運動広場などの文化・スポーツ施設があり、多くの市民で賑わっています。

【複合化可能施設例】文化会館、自然資料館、民間施設

立地可能場所の特徴を活かす追加コンセプト
文化とスポーツ・生涯学習の拠点

・文化施設やスポーツ施設、公園施設との連携を図るとともに、生涯学習機能を取り入れることで、文化・スポーツ・生涯学習の一大拠点の形成が可能です。

・個々の施設（文化施設、スポーツ施設、公園施設、エリア内の施設）を訪れた多様な人々を呼び込み、新たな情報にアクセスできる図書館とすることができます。

・不特定、かつ多数の利用を前提とした公園の人流を、図書館に呼び込むことができます。

交通の利便性やアクセスの容易性

南海春木駅から約 600m、国道 26 号線から約 200mと、駅や主要幹線道路から近く、バスの運行もあります。
また、駐車スペースも 450 台と立地可能場所の中で最も多く確保されているため、車でのアクセス性も高いと言えます。

他の公共・民間施設との複合化や併設の可能性

・公園内には、総合体育館や、スポーツ広場、テニスコートなどがあるほか、近くに文化会館もあり、今後、屋内プールの整備も計画されています。

・図書館を設けることで、スポーツや文化などの生涯学習の拠点とすることができます。

・図書館は、文化や生涯学習との親和性が高いと考えられるため、文化会館や自然資料館などとの複合化が考えられます。民間施設も含め、様々な複合化への検討が可能な立地場所となっています。

まちの賑わいづくりや活性化への寄与

まなび中央公園は来園者が多く、年間約 73 万人という調査結果が出ています。まなび中央公園を生涯学習の拠点とすることで、相乗効果が期待できると考えます。

必要な土地の確保

都市公園法上の面積制限はあるものの、市有地であるため、新たに土地を購入する必要はありません。

【立地可能場所Ⅳ.　まなび中央公園　位置図】

課題

本市では現在、まなび中央公園東側に屋内プールを整備する方針であり、プール以外については、今後整備方針を策定予定です。このため、新図書館（本館）の検討を進める場合は、まなび中央公園の整備方針との整合性を図る必要があります。

また、検討を進めるにあたっては、近隣にある文化会館や親和性のある自然資料館などとの複合化の可能性についても併せて検証していく必要があります。

３．今後のスケジュール

令和５年度は、企画課、公共建築マネジメント課、図書館が中心となる作業部会において、４つの立地可能場所の課題や方向性について整理しました。また、新図書館（本館）について、今後検討を進めていくうえで必要となる市民の意見を取り入れるため、学生と一緒にまち歩きワークショップや未来の図書館の空間を考える取組み、まちなかを歩いている人にインタビューなども行いました。

次年度も、市民共創の図書館を目指しながら、引き続き、立地可能場所の検証を深めるとともに、他の公共・民間施設との複合化や併設が見込めるか、また、図書館の立地を契機として、まちの賑わいづくりや、魅力創造につながることが期待できるかについて、さらに検討を進めていきます。

４．議事録

第１回検討委員会	
日時：令和５年７月 11 日（火）　１０時	**場所　図書館本館　３階視聴覚室**

【出席者】総合政策部長・総務部長・財務部長・市民環境部長・危機管理部長・福祉部長・保健部長・子ども家庭応援部長・魅力創造部長・建設部長・教育総務部長・学校教育部長・生涯学習部長・図書館長・図書館企画担当主幹

業務委託者・議事　株式会社オンデザインパートナーズ

【概要】

1. 検討方針について

この委員会は効果的かつ効率的な市政運営のための会議の設置に関する規程第15条に規定する専門委員会で、所管事務については新図書館の整備についての調査及び資料の収集や課題の抽出としている。作業部会で調査・検討した内容を、この検討委員会で報告させて頂き、結論づけるという手法で進めさせて欲しい。基本構想策定に向けた検討の場としての会議体とする。

検討委員の関係課から構成される作業部会を設け、具体的に調査の検討は作業部会で行い、検討委員会に諮る。

<検討事項>

① 候補地について　② 複合化について　③ 整備手法について、 ④ 管理運営について
の４事項とし、主に今年度は、立地と複合化について検討を進めることとする。

2. 公共図書館をとりまく現状の認識について

先進都市の事例を説明。今年度検討する内容について説明。

<立地>

・駅前計画 or 中心市街地内計画
・新築計画 or 既存ビル改造計画
・広場/公園等との連携

<複合化>

・事業自体の目的の明確化
・既存公共施設の再編
・地元の文化・産業との連携

３．年間スケジュールについて

作業部会で候補地の整理を進める。

４．官民で考えていくこれからの図書館（先進事例の紹介）

庁内検討委員会での検討を進めながら、新図書館の来館者を獲得することにもつながる、地域とのつながりを強化するワークショップやまちなかでのヒアリング等も行う予定。

以上

第１回作業部会	
日時：令和５年８月２日（水）13 時半	**場所　図書館本館　３階視聴覚室**

【出席者】企画課担当主幹、企画課主任、公共建築マネジメント課長、公共建築マネジメント課担当長、交通まちづくり課長、交通まちづくり課参事、図書館長、図書館企画担当主幹
業務委託者・議事　株式会社オンデザインパートナーズ

【概要】

1. 作業部会の進め方

・庁内検討委員会の検討事項は、候補地、複合化、整備手法、管理運営の４つ。
・今年度は、候補地と複合化について検討を進める。
・検討委員会のみでは十分な議論や検討、調査はできないため、作業部会で検討を行う。
・作業部会で候補地、複合化の検討を行い整理したものを、庁内検討委員会に諮る。

2. 候補地説明・課題について

４ヵ所を選定した基準は「岸和田市図書館のありかた」に示した候補地についての次の４つの基本的な考え方によるものであることを説明。

（１） 公共交通機関などの交通利便性がよく、市内各所からのアクセスが容易であること
（２） 他の公共・民間施設との複合化や併設が見込めること
（３） まちの賑わいづくりや、魅力創造につながることが期待できること
（４） 必要な土地の確保が確実に見込めること

以上の要件を満たす「福祉総合センター未利用地」「現地」「南海浪切ホール」「中央公園プール」で検討する。

３．新たに策定予定の立地適正化計画についての説明を受ける

・駅周辺の交通結節点に区域を定め、誘導施設を設けることで集約し、利便性の高く持続可能なまちづくりを進める。
・図書館本館は、誘導施設にあたる。立地適正化計画に位置づけることができれば、国の交付金が受けやすくなり事業が進めやすくなる。
・交通を基軸に考える計画である。

４．近隣や先進自治体の事例説明と今後のスケジュール

・９月までに候補地の整理を目指す。
・10月～１１月　管理運営・整備手法の検討を目指す。
・スケジュール的にタイトである。整理出来なかった場合は、柔軟に対応していく。
・特別職が判断できる材料を整理し、検討委員会に諮ることを目標にする。

以上

第２回作業部会	
日時：令和５年８月 31 日（木）13 時半	**場所　図書館本館　３階視聴覚室**

【出席者】企画課長、企画課担当主幹、公共建築マネジメント課担当長、交通まちづくり課長、交通まちづくり課参事、図書館長、図書館企画担当主幹、図書館企画担当員

【概要】

<配布資料>

企画課作成　候補地一覧シート（資料１）

公共建築マネジメント課作成　候補地一覧シート（資料２・３）

１．進捗状況について

<図書館から各課との協議事項の報告>

・現地【関連課　こども園推進課】
公立認定こども園建設のため、図書館現地の敷地を活用したい。

・南海浪切ホール【関連課　文化国際課・産業政策課】
南海浪切ホール、マドカホールとも具体的な方針が決まっていない中で、図書館との複合化は検討していない。また旧港地区でも図書館を活用する構想は現段階でない。

・中央公園プール【関連課　水とみどり課】
屋内プールを整備する際、公園全体の再整備を進める予定。再整備で図書館や文化会館等との複合施設の整備も検討の余地あり。事業者からは、子ども用屋内施設、駐車場等の活用案があがっている。継続して情報共有を行う。

・福祉総合センター未利用地は、特に具体的な計画等はない。

２．新たに策定される立地適正化計画での対象施設について

・計画は令和５年度中にたたき台を作成予定

・立地適正化計画は、４候補地の全てに適用できる可能性はある。

３．図書館としての考え方

・現地は一時的移転の問題や、図書館が必要と考える交流機能については敷地が小さく実現が難しいと考えているが、他の候補地での検討が進まない場合は、認定こども園との複合化も視野に入れた現地建替えの可能性もあると考える。

・南海浪切ホールは、所管課、構想を策定している課、両課とも図書館との複合化は検討していない。

・中央公園プールは、図書館との親和性が高い文化会館などが近くにあることから議論の余地はある。

・駅東側を活性化させるための中心拠点施設として、空き地である福祉総合センター未利用地での可能性を検討したい。

4. 候補地一覧表について

・南海浪切ホールは、新行財政改革プランの進捗管理の中で、令和７年度に統廃合や管理運営方法の方向性を検討するとしている。図書館の機能や面積を検討する際、都市中核地域周辺エリアで都市機能を集約、整理をしていく必要があるという観点からの検討が必要と考える。

・都市中核地域の中心にない中央公園プールを候補地にあげたのは、公共施設最適化計画との整合性の観点からマドカホールなどの文化施設等との複合化の検討が必要であることからである。

・検討委員会で一定判断できる整理ができれば、候補地を絞り込んでの検討もあると思う。いずれにせよ検討委員会で判断してもらうこととなるので、点数化できるものが作れたら理想だと思う。

・４つの候補地について、作業部会での意見を出し合いまとめたものを示したうえで、候補地を絞るかどうかについては検討委員会で判断してもらえばよい。より深く検討するとなると建設の視点からの詳細な検討も必要となるため、できれば２つに絞った方が進めやすい。

・点数化して判断するのが一番だが、候補地ごとに、すべてのレイアウトを考え、事業費を調べ、交付金制度を調べるというのは大変な業務量になる。ある程度候補地を絞れるのであれば絞り、より精度の高い調査を進める方がよい。まずは定性的なところで判断できるものを示すことでよいと考える。

・候補地一覧表を精査して、検討委員会で判断してもらう資料を作ることから始める。

以上

第３回作業部会	
日時：令和５年 10 月 10 日（火）13 時半	場所　図書館本館　３階自習室

【出席者】企画課長、企画課担当主幹、公共建築マネジメント課長、公共建築マネジメント課担当長、図書館長、図書館企画担当主幹
業務委託者・議事　株式会社オンデザインパートナーズ（オンライン）

【概要】

１．今後のスケジュールについて

<スケジュール案の説明>

第２回検討委員会を１１月開催予定　候補地一覧表を事前配布時、委員の意見を確認予定。その後、作業部会で報告し、12 月に第３回の検討委員会を開催し、検討の方向性を整理予定。

２．候補地一覧表資料１～３の内容についての精査

<資料１：新しい図書館に適した候補地について>

今回の提示資料以外に何か検討委員会で示す予定はあるか。
→ない。

<資料２：新しい図書館の姿と今後の検討課題について>

・現地について、追加コンセプトに教育・歴史・文化の拠点とあるが、その文脈からすると自然資料館も複合化できるのではないか。
→現幼稚園には駐車場がなく、駐車スペース確保が必要となるため、自然資料館は難しいと考える。
・参考資料の課題解決への寄与についての評価はルールを合わせた方がよい。
・参考資料の図書館がもたらす本来の効果とは何か？説明を求められたときに、説明できるようにしておくとよい。
→知る権利の保障である。

<資料３：複合化候補施設と立地に関わる分析>

・防災の視点での評価ということで、基本的にはハザードエリアの内外で評価した。
・人流動態の資料だが、福祉総合センター周辺は朝と夕方はかなり交通量が多く、渋滞の懸念があるのが見て取れる。
・産業の活性化の項目で浪切ホールと kishi-biz との連携による相乗効果とは何か。
→講座の開催や本の展示など、他課の事業と図書館が連携することで相乗効果が出ているケースがあり、これらも同様の効果が期待できると考える。

３．評価方法について

・検討委員会では、この資料をどう使うのか。
→資料を事前に検討委員に持参のうえ説明し、意見をもらう予定。
・検討委員会としては、何かしら評価が必要となる。どう評価をするのかの質疑が出てくると思われる。
・作業部会として、どこが適地と考えるか問われた場合の答えを用意する必要がある。検討委員が採点して決めると想定しているのか、議論のなかで１か所に絞ると想定しているのかどうか。

→議論のなかで絞り込み等についても決めていければと考えている。

・次の検討委員会で、候補地一覧表の評価指標として他に何が必要かの意見を出してもらい、決定するような形で進められれば良いと考えている。

以上

第２回検討委員会	
日時：令和５年 12 月 27 日（水）13 時半	**場所　職員会館　２階大会議室**

【出席者】総合政策部長・総務部長・財務部長・市民環境部長・福祉部長・保健部長・子ども家庭応援部長・魅力創造部長・まちづくり推進部長・建設部長・教育次長兼教育総務部長・学校教育部長・生涯学習部長・図書館長・図書館企画担当主幹・図書館企画担当員
業務委託者・議事　株式会社オンデザインパートナーズ

【概要】

1. 候補地一覧表の説明

・資料１「新しい図書館に適した候補地について」
新しい図書館に求められる基本コンセプトや基本機能、基本機能に応じた必要な床面積など候補地ごとの基本情報を記載している。

・資料２「新しい図書館の姿と今後の検討課題について」
それぞれの候補地での新しい図書館の姿を記載。基本的なコンセプトや機能は変わらないが、候補地により何と複合化するか、どのような追加機能をもたせるのかは変わってくる。資料２－２は、図書館と類似する機能をもつ施設、図書館と親和性がある施設を掲載した。

・「市で抱える課題解決の寄与」
基本機能に加え追加機能を持たせることで、記載の課題解決に寄与できると考え整理した。また、各候補地の個別課題については、検討スケジュールが一致していないものが多く、限られた予算や時間の中、何を優先的に整備していくのかの判断が必要。

・資料３「複合化候補施設と立地に関わる分析」
公共施設最適化計画や新行財政改革プランの視点からの検討が必要となっており、検討に必要な候補地ごとのデータを掲載。

２．作業部会の進捗状況

・作業部会で、それぞれの候補地の方向性やスケジュールについて、今後、関連する課とも複合化により機能の集約が図れないかどうかの協議を進める予定。並行して、教育委員会内でも同様の整理を進める。

・採点評価の意見もあったが、図書館の目指してきた方向性と４候補地の整理内容を報告書に記載し、政策決定会議で報告したい。検討委員会で候補地一覧表に関して、意見があれば伺い、作業部会で反映する。

３．第１回で質問のあった電子書籍等の考え方について（事業者より説明）

現時点で言えることは、ここ10年で電子書籍を紙の本の代替にすることは難しい。サービス提供のためには、およそ1000万円の費用が必要であり、ほとんどの自治体はコロナ関係の補助金で整備してきた。図書館で活用できるコンテンツが限られていることから、費用対効果や今後の動向を検証していく必要がある。

泉大津市の図書館でも学生や若い人たちの利用が変わってきており、図書館で勉強や仕事をする人が顕著に増えている。新しい駅前図書館としての顕著な利用形態の変化であり、本市でもより大規模に計画していく必要があると考える。図書館は本を貸し出すだけでなく、場として使う認識に変わってきている。

4．今後のスケジュールについて

・令和５年度中に今年度の協議・検討内容を報告書にまとめる。

・４候補地についてどのように掲載するのかは、改めて報告する。

以上

第４回作業部会	
日時：令和６年２月 29 日（木）13 時半	**場所　職員会館　３階和室**

【出席者】企画課長、企画課担当主幹、公共建築マネジメント課担当長、文化国際課長、水とみどり課長、生涯学習課長、郷土文化課長、図書館長、図書館企画担当主幹

【概要】

１．候補地一覧表について

・作業部会へ新たな参加があったため、７月に政策決定会議の専門部会として新図書館（本館）整備庁内検討委員会を立ち上げ、新図書館の立地と複合化について検討を進めてきた経緯を説明。

・今後、候補地ごとの検討を進める。中央公園については、次年度以降、公園全体の再整備の検討も進める予定と聞いており、図書館等との複合化の可能性について公園を所管する水とみどり課、近隣施設を所管している文化国際課、生涯学習課、図書館との親和性の観点から郷土文化課との協議の場としたい旨説明。

・政策決定会議については、今年度は経過報告、次年度は新図書館の立地場所の方向性を示すため検討を進めている旨説明。

２．中央公園プール地について

<水とみどり課説明>

・屋内プール整備は令和 10 年の完成を目指す。

・残すべきとの声もあり、中央公園プール（屋外）の方向性は未定だが、築 40 年経過し老朽化している。少なくとも令和 10 年までは閉鎖できないと考えているが、屋内、屋外両方必要かの議論が必要。原課としては、子どもたちのための施設で検討したい。

・中央公園プールの指定管理について、今あるものを管理してもらうだけになるのか、整備を含めた指定管理になるのかということがある。Park－PFI と言われるものであるが、民活を進めるかについては次年度検討を進める必要がある。

<文化国際課説明>

・マドカホールは築 40 年以上経過。比較的コンディションは良いが、配管、トイレ等水回りが気になる。

・コロナ禍以降、稼動率は減少している。土日と平日の利用では利用の傾向が違う。

・501 席あるホールや展示場は必要と考える。

・将来的に集約した施設は必要と考えているので複合化について検討の余地はある。

<生涯学習課説明>

・エリア的には大宮地区公民館が一番近いが、すでに男女共同参画センターと複合化済。

・現在、公民館再編第１期実施計画において、城北、新条地区公民館の再編を進めている。体育館等の利用調整が必要となっている。

・春木地区公民館を春木市民センター内の公民館分館と統合する計画も進めている。

・個々の施設についての計画ではあるが、周辺エリアを含め、全市的な視点も考慮し整理を進める必要がある。

<郷土文化課説明>

自然資料館と図書館の親和性はあるので、図書館が複合化を検討するのであれば検討の余地はあるが、現在の施設が比較的新しく活用できるため、全体のバランスの中で考えていく。

<公共建築マネジメント課>

公共建築マネジメント課としては、施設の総量削減につながることが目標。図書館と親和性の高い施設は文化施設と生涯学習施設である。仮に、福祉総合センター未利用地に図書館を整備する場合、近隣の生涯学習施設である市立公民館と複合化する可能性がでてくるが、公民館機能と福祉総合センター機能は重複する部分があり、稼働率の問題も含め、新たな施設には福祉総合センターと重複する機能を除く必要があり、現状の図書館面積以下になるという話になる。

一方で、中央公園プールの近くには文化会館があり、目的の親和性があって、集約化による面積削減も期待できる。面積削減の目的を達成する観点からは、文化施設と集約できるかどうかを検討するほうがよいという見解である。

中央公園については指定管理の問題などもあるが、可能性は検討できるのかというところ。まずは可能性の段階かと考えている。現状では、令和９年度までは中央公園プールは運営していく必要があり、Park-PFI 等で民活するというのは、中央公園プール以外を使って何かするというイメージと考える。その方針は図書館検討の話とは切り分けて考える必要があるのではないか。中央公園の整備方針というのは、指定管理の方針や中央公園プールを除いた用地で民活なり収益化施設の方向性を定めるのかと思われる。

<企画課>

本日の協議内容を踏まえ、中央公園プール地においては、公の施設との複合化について検討の余地があるという認識でよいか。

→異議なし

<図書館>

水とみどり課の事業の方向性もあると思うので、今回は、検討の余地はあるということの確認と考えている。引き続き、検証するので協力をお願いする。

以上

新図書館（本館）整備庁内検討委員会委員

	役職	所属
1	委員長	生涯学習部長
2	副委員長	総合政策部長
3	委員	総務部長
4	〃	財務部長
5	〃	市民環境部長
6	〃	危機管理部長
7	〃	福祉部長
8	〃	保健部長
9	〃	子ども家庭応援部長
10	〃	魅力創造部長
11	〃	まちづくり推進部長
12	〃	建設部長
13	〃	教育次長（兼）教育総務部長
14	〃	学校教育部長

作業部会　企画課・公共建築マネジメント課・図書館　※必要に応じて関係課を招集

第１回検討委員会	
令和５年７月１１日	図書館３階　視聴覚室
第２回検討委員会	
令和５年１２月２７日	職員会館　２階大会議室
第１回作業部会	
令和５年８月２日	図書館３階　視聴覚室
第２回作業部会	
令和５年８月３１日	図書館３階　視聴覚室
第３回作業部会	
令和５年１０月１０日	図書館３階　自習室
第４回作業部会	
令和６年２月２９日	職員会館３階　和室

参考資料

1. 新図書館（本館）整備庁内検討委員会設置要綱
2. 令和5年度施政方針（一部抜粋）
3. 事業者説明資料
4. 文部科学省中央教育審議会
   人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育振興方策について（答申）概要
5. 候補地一覧表
   【資料1】新しい図書館に適した候補地について
   【資料2】新しい図書館の姿と今後の検討課題について
   【参考】市で抱える課題解決への寄与（寄与度設定に関する補足資料）
   【資料3】複合化候補施設と立地に係る分析
6. 官民連携で考えていくこれからの図書館実践報告
   ・岸和田まち歩きワークショップ
   ・岸和田お話し屋

資料１

新図書館（本館）整備庁内検討委員会設置要綱

（設置）

第１条　岸和田市教育委員会でとりまとめた「岸和田市図書館のありかた」を基に、新図書館（本館）整備に向けた全庁的な検討を行うため、新図書館（本館）整備庁内検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

２　この委員会は、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程（平成 26 年４月 25 日庁達第５号）第 15 条に規定する専門委員会に位置づける。

（所掌事務）

第２条　委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

（１）新図書館（本館）整備の検討に関わる必要な調査及び資料収集に関すること。

（２）前号の調査の結果及び収集した資料による新図書館（本館）整備に関わる課題の抽出、整理及び対応策の検討に関すること。

（３）その他新図書館（本館）整備の検討に関し、必要と認められること。

（委員）

第３条　委員会は、委員 14 名で組織する。

２　委員会の委員は、次に掲げる者をもって充てる。

(1) 総合政策部長
(2) 総務部長
(3) 財務部長
(4) 市民環境部長
(5) 危機管理部長
(6) 福祉部長
(7) 保健部長
(8) 子ども家庭応援部長
(9) 魅力創造部長
(10) まちづくり推進部長
(11) 建設部長
(12) 教育次長 兼 教育総務部長
(13) 学校教育部長
(14) 生涯学習部長

（委員長及び副委員長）

第４条　委員会に委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は、生涯学習部長をもって充てる。

３　委員長は、委員会を代表し、会務を掌理する。

４　副委員長は、総合政策部長をもって充てる。
５　副委員長は、委員会を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議の招集）
第５条　委員会は、必要に応じて委員長が招集し、委員長がその議長となる
２　委員が出席できない場合は、委員が指名する職員をもって充てることできる。

（意見の聴収）
第６条　委員会は、必要があると認めるときは、委員会の会議に、市民、学識経験者、その他の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。

（作業部会）
第７条　委員会は、必要に応じて作業部会を置くことができる。
２　作業部会は、図書館長のほか、委員長が指名する職員で構成する。
３　作業部会に部会長を置き、図書館長をもって充てる。
４　部会長は、作業部会の会務を掌理し、作業部会における調査の結果を委員会に報告する。

（事務局）
第８条　委員会の事務局は、生涯学習部図書館に置く。

（その他）
第９条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附則
この要綱は、令和５年５月１日から施行する。

別表

新図書館（本館）整備庁内検討委員会委員

	役職	所属
1	委員長	生涯学習部長
2	副委員長	総合政策部長
3	委員	総務部長
4	〃	財務部長
5	〃	市民環境部長
6	〃	危機管理部長
7	〃	福祉部長
8	〃	保健部長
9	〃	子ども家庭応援部長
10	〃	魅力創造部長
11	〃	まちづくり推進部長
12	〃	建設部長
13	〃	教育次長（兼）教育総務部長
14	〃	学校教育部長

【作業部会】
企画課長
公共建築マネジメント課長
その他、必要に応じて関連課、担当者を招集

【事務局】
生涯学習部図書館長
生涯学習部企画担当主幹

【支援業務受託者】
株式会社オンデザインパートナーズ　**（令和５年７月～令和６年３月）**

資料２

令和５年度施政方針（一部抜粋）

令和5年度に取り組む事業について、「将来ビジョン・岸和田第１期基本計画」の基本目標に沿ってご説明いたします。

基本目標「岸和田の次世代を育むまち」においては、若者勤労者の市内就労の定着促進や市外からの定住促進を図るため、市内企業等の若者勤労者の雇用確保を目的として、岸和田市内に居住し、かつ市内企業等へ新たに就職された方が返還する奨学金の一部を補助する奨学金返還支援事業を実施します。

令和5年度から、学校給食費の管理における透明性の向上、徴収における公平性の確保、教職員の負担軽減による教育の充実を図るため、学校給食の公会計化を実施します。

中学校の部活動においては、約4割の顧問が当該競技の専門外または未経験の教員となっており、また、部活動指導により、時間外勤務が多くなっていることから、指導体制の充実を推進し、担当する教員の支援を行うとともに、部活動の質的向上を図るため、中学校部活動指導員を増員します。

部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動への移行に向けた環境を一体的に整備することをめざし、中学生のスポーツ活動の環境整備や充実を図るため、まずは休日に行っている部活動の地域での実施や、新たなスポ ーツ種目の実施などを、受け入れ先となる地域のスポーツクラブや民間事業者等と連携し、取り組みます。また、スポーツ庁等による休日の部活動の段階的な地域への移行の方針に対応するため、単独の学校では設置ができない種目について、新たに民間での開設に向けて取り組みます。

老朽化が進む図書館本館の現状を踏まえ、新図書館整備に向けたキックオフとして教育委員会が取りまとめた「図書館のありかた」を踏まえ、施設整備等についての検討を進めます。

資料3

第1回 新図書館整備庁内検討委員会
2023.7.11(火)

1.公共図書館をとりまく現状の認識

2.年間スケジュール

3.官民で考えていくこれからの図書館

〈近隣自治体や最近の公共図書館の動向〉

○近隣自治体の事例

和歌山市民図書館

あかし市民図書館

泉大津市立図書館
SHEEPLA

瀬戸内市民図書館
もみわ広場

○最近の図書館を核とした公共施設の事例

安城市図書情報館
アンフォーレ

塩尻市市民交流センター
えんぱーく

牧之原市立図書館交流館
いこっと

〈近隣自治体・最新公共図書館との事例比較表〉

岸和田市立図書館（図書館単独施設）

岸和田市（19.4万人）/開館：1975年/立地：中心市街地（南海本線 岸和田駅 徒歩8分）/構造：RC造3F/延床面積:2339.46㎡/蔵書数：約27万冊/管理運営:岸和田市/
開館時間: 10:00-18:00 / 休館日：毎週月曜日・祝日・9月祭礼・年末年始

施設名称	**和歌山市民図書館**	**あかし市民図書館**	**安城市図書情報館 アンフォーレ**	**塩尻市市民交流センター えんパーク**	**牧之原市立図書交流館 いこっと**	**泉大津市立図書館 SHEEPLA**	**瀬戸内市民図書館 もみわ広場**
自治体	和歌山県 和歌山市 (36.4万)	兵庫県 明石市 (29.3万人)	愛知県 安城市 (18.4万人)	長野県 塩尻市 (6.7万人)	静岡県 牧之原市 (4.5万人)	大阪府 泉大津市 (7.5万人)	岡山県 瀬戸内市 (36.4万)
開館年	2020.3 (新築)	2017.1 (新築ビル4F)	2017.6 (新築ビル2-4F)	2010.7 (新築)	2021.4 (改修1F)	2021.5 (移転改修ビル4F)	2016.6 (新築)
立地	駅隣接 (南海電鉄 和歌山市駅直結施設内)	駅隣接 (JR・山陽電鉄明石駅直結施設4F)	駅隣接 (JR安城駅から徒歩5分)	中心市街地 (JR中央本線塩尻駅より徒歩8分,長野自動車道塩尻ＩＣから約１０分)	中心市街地 (国道473号大沢ICから300m, 大沢公園バス停徒歩1分)	駅隣接 (南海本線泉大津駅直結ショッピングモール内)	中心市街地 (JR邑久駅から徒歩10分,岡山ブルーライン瀬戸内ICから約5分)
構造	S造6F	RC造	S造、RC造、SRC造 地下1F地上5F	RC造/ 一部S造5F	S造	RC造	S+RC造 地上2F
延床面積	7,597㎡	4,105㎡	9,193.04㎡	11,902㎡	815㎡	3,510㎡	2,309.19㎡
蔵書数	約50万冊	約40万冊	約79万冊	約41万冊	約3万冊	約18万冊	約20万冊
機能	カフェ (スターバックスコーヒー) 書店(蔦屋書店)	-	子育て支援室/ビジネス支援室/ホール/スーパーマーケット/カフェ/旅券窓口等	子育て青少年交流・シニア活動・ビジネス市民活動支援機能	レンタルスペース/ ボルダリングジム/ カフェ/バーベキュー施設等	コンセプトショップ (CO-ON)	郷土資料館
整備手法	PPP	PFI	PFI	従来方式 (塩尻市)	従来方式 (牧之原市)	従来方式 (泉大津市)	従来方式 (瀬戸内市)
管理運営	指定管理者 (カルチュア・コンビニエンス・クラブ)	指定管理者 (TRC図書館流通センター)	安城市	塩尻市	牧之原市	泉大津市	瀬戸内市
開館時間	9:00-21:00	平日9:30-21:00 休日10:00-19:00	月・水～金 9:00-20:00 土日祝 9:00-18:00	平日10:00-20:00 休日9:30-18:00	火～金 10:00-19:00 土日祝 10:00-18:00	10:00-20:00	火・水・土・日祝 10:00-18:00 木・金10:00-19:00
休館日	なし・ 年中無休	第3火曜日/年末年始/ 長期整理日	毎週火曜日/第4金曜日/ 長期整理日/年末年始	毎週水曜日/長期整理日/ 年末年始	毎週月曜日/長期整理日/ 年末年始	第3火曜日	毎週月曜日最終水曜日/ 長期整理日/年末年始

〈近隣自治体・最新公共図書館との事例比較表〉

岸和田市立図書館（図書館単独施設）

岸和田市（19.4万人）/開館：1975年/立地：中心市街地（南海本線 岸和田駅 徒歩8分）/構造：RC造3F/延床面積:2339.46㎡/蔵書数：約27万冊/管理運営:岸和田市/
開館時間: 10:00-18:00 / 休館日：毎週月曜日・祝日・9月祭礼・年末年始

施設名称	**和歌山市民図書館**	**あかし市民図書館**	**安城市図書情報館 アンフォーレ**	**塩尻市市民交流センター えんパーク**	**牧之原市立図書交流館 いこっと**	**泉大津市立図書館 SHEEPLA**	**瀬戸内市民図書館 もみわ広場**
自治体	和歌山県 和歌山市 (36.4万)	兵庫県 明石市 (29.3万人)	愛知県 安城市 (18.4万人)	長野県 塩尻市 (6.7万人)	静岡県 牧之原市 (4.5万人)	大阪府 泉大津市 (7.5万人)	岡山県 瀬戸内市 (36.4万)
開館年	2020.3 (新築)	2017.1 (新築ビル4F)	2017.6 (新築ビル2-4F)	2010.7 (新築)	2021.4 (改修1F)	2021.5 (移転改修ビル4F)	2016.6 (新築)
立地	駅隣接 (南海電鉄 和歌山市駅直結施設内)	駅隣接 (JR・山陽電鉄明石駅直結施設4F)	駅隣接 (JR安城駅から徒歩5分)	中心市街地 (JR中央本線塩尻駅より徒歩8分,長野自動車道塩尻ICから約10分)	中心市街地 (国道473号大沢ICから300m, 大沢公園バス停徒歩1分)	駅隣接 (南海本線泉大津駅直結ショッピングモール内)	中心市街地 (JR邑久駅から徒歩10分,岡山ブルーライン瀬戸内ICから約5分)
構造	S造6F	RC造	S造、RC造、SRC造 地下1F地上5F	RC造/ 一部S造5F	S造	RC造	S+RC造 地上2F
延床面積	7,597㎡	4,105㎡	9,193.04㎡	11,902㎡	815㎡	3,510㎡	2,309.19㎡
蔵書数	約50万冊	約40万冊	約79万冊	約41万冊	約3万冊	約18万冊	約20万冊
機能	カフェ (スターバックスコーヒー) 書店(蔦屋書店)	-	子育て支援室/ビジネス支援室/ホール/スーパーマーケット/カフェ/旅券窓口等	子育て青少年交流・シニア活動・ビジネス市民活動支援機能	レンタルスペース/ ボルダリングジム/ カフェ/バーベキュー施設等	コンセプトショップ (CO-ON)	郷土資料館
整備手法	PPP	PFI	PFI	従来方式 (塩尻市)	従来方式 (牧之原市)	従来方式 (泉大津市)	従来方式 (瀬戸内市)
管理運営	指定管理者 (カルチュア・コンビニエンス・クラブ)	指定管理者 (TRC図書館流通センター)	安城市	塩尻市	牧之原市	泉大津市	瀬戸内市
開館時間	9:00-21:00	平日9:30-21:00 休日10:00-19:00	月・水～金 9:00-20:00 土日祝 9:00-18:00	平日10:00-20:00 休日9:30-18:00	火～金 10:00-19:00 土日祝 10:00-18:00	10:00-20:00	火・水・土・日祝 10:00-18:00 木・金10:00-19:00
休館日	なし・ 年中無休	第3火曜日/年末年始/ 長期整理日	毎週火曜日/第4金曜日/ 長期整理日/年末年始	毎週水曜日/長期整理日/ 年末年始	毎週月曜日/長期整理日/ 年末年始	第3火曜日	毎週月曜日最終水曜日/ 長期整理日/年末年始

和歌山市民図書館

複合性 ←						→ 単独性
和歌山市民図書館	あかし市民図書館	安城市図書情報館 アンフォーレ	塩尻市市民交流センター えんパーク	牧之原市立図書交流館 いこっと	泉大津市立図書館 SHEEPLA	瀬戸内市民図書館 もみわ広場

開館：2020.3

立地：駅隣接 (南海電鉄和歌山市駅施設 キーノ和歌山施設内 5F 建て)

機能：図書館内カフェ・地域子育て支援室 / 駅施設他　スーパー・飲食店・ホテル・ジムなど複数商業テナント

駅前の一体開発としての図書館

IF カフェ (スターバックス)・蔦屋書店

2F 図書館書架・郷土資料・多目的ルーム

3F 専門資料・移民資料室・学習室

4F 地域子育て支援室・子ども図書

RF テラス・芝生広場

あかし市民図書館

複合性 ←						単独性 →
和歌山市民図書館	あかし市民図書館	安城市図書情報館 アンフォーレ	塩尻市市民交流センター えんパーク	牧之原市立図書交流館 いこっと	泉大津市立図書館 SHEEPLA	瀬戸内市民図書館 もみわ広場

開館：2017.1

立地：駅隣接 (JR 山陽電鉄明石駅直結施設　パピオスあかし内 4F)

機能：図書館内はなし / 駅施設他　商業施設・書店・子育て支援施設・市役所窓口・34F 建マンション

駅前再開発事業施設の中にある図書館

2F 書店・市民広場・他商業施設

5F 子育て支援施設・子ども図書館・中高生世代交流施設

安城市図書情報館 アンフォーレ

複合性 ←						→ 単独性
和歌山市民図書館	あかし市民図書館	安城市図書情報館 アンフォーレ	塩尻市市民交流センター えんパーク	牧之原市立図書交流館 いこっと	泉大津市立図書館 SHEEPLA	瀬戸内市民図書館 もみわ広場

開館：2017.6

立地：駅隣接 (JR 安城駅から徒歩 5 分　地下 1F 地上 4F 建て　施設内 2-4F 図書館機能)

機能：子育て支援施設・ビジネス支援室・ホール・スーパーマーケット・カフェ・旅券窓口等

© 安城市図書情報館

© 安城市図書情報館

中心市街地活性化のために市有地において公共施設の整備等を行う PFI事業と、民間施設の整備等を行う定期借地事業との一体的な実施により整備された。ホールや子育て・ビジネス支援室も複合する。

塩尻市市民交流センター えんパーク

複合性 ←						→ 単独性
和歌山市民図書館	あかし市民図書館	安城市図書情報館 アンフォーレ	塩尻市市民交流センター えんパーク	牧之原市立図書交流館 いこっと	泉大津市立図書館 SHEEPLA	瀬戸内市民図書館 もみわ広場

開館：2010.7

立地：中心市街地 (JR 中央本線塩尻駅から徒歩 8 分　5F 建て 1-2F 図書館機能)

機能：子育て青少年交流施設・シニア活動・ビジネス市民活動支援機能

地方都市の拠点施設としての図書館。

子育て支援や市民活動の場が複合することでまちのリビングルームとして機能している。

牧之原市立図書館交流館 いこっと

複合性 ←						→ 単独性
和歌山市民図書館	あかし市民図書館	安城市図書情報館 アンフォーレ	塩尻市市民交流センター えんパーク	牧之原市立図書交流館 いこっと	泉大津市立図書館 SHEEPLA	瀬戸内市民図書館 もみわ広場

開館：2021.4

立地：中心市街地 (国道 473 号大沢 IC から 300m)

機能：子育て支援施設・ビジネス支援室・ホール・スーパーマーケット・カフェ・旅券窓口等

郊外型ショッピングタウンの一角のホームセンター跡地改修。
公共図書館と民間テナントが共存して入居する公設共営の事例。

泉大津市立図書館 SHEEPLA

複合性 ←→ 単独性						
和歌山市民図書館	あかし市民図書館	安城市図書情報館 アンフォーレ	塩尻市市民交流センター えんパーク	牧之原市立図書交流館 いこっと	泉大津市立図書館 SHEEPLA	瀬戸内市民図書館 もみわ広場

開館：2021.5

立地：駅隣接 (南海本線泉大津駅直結ショッピングモール内　4F)

機能：コンセプトショップ (CO-ON)

ワンフロアに郷土資料展示エリア・地元産業紹介・コンセプトショップ・電子書籍コーナーがある。

瀬戸内市民図書館 もみわ広場

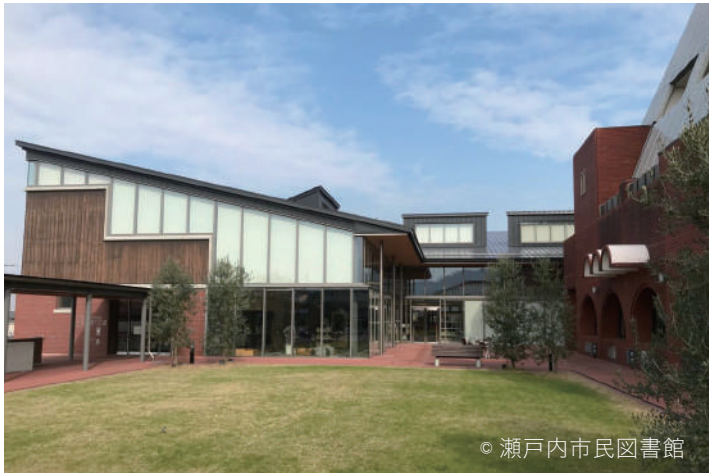
複合性 ←→ 単独性						
和歌山市民図書館	あかし市民図書館	安城市図書情報館 アンフォーレ	塩尻市市民交流センター えんパーク	牧之原市立図書交流館 いこっと	泉大津市立図書館 SHEEPLA	瀬戸内市民図書館 もみわ広場

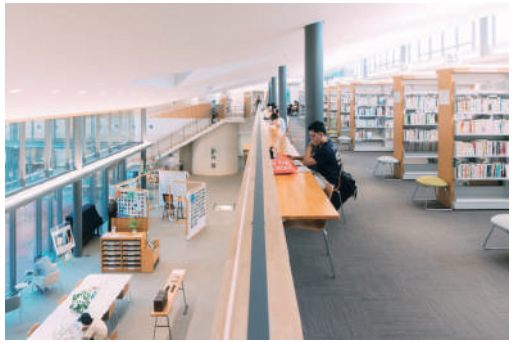
開館：2016.6

立地：中心市街地 (JR 邑久駅から徒歩 10 分)

機能：郷土資料館

© 瀬戸内市民図書館


© 瀬戸内市民図書館

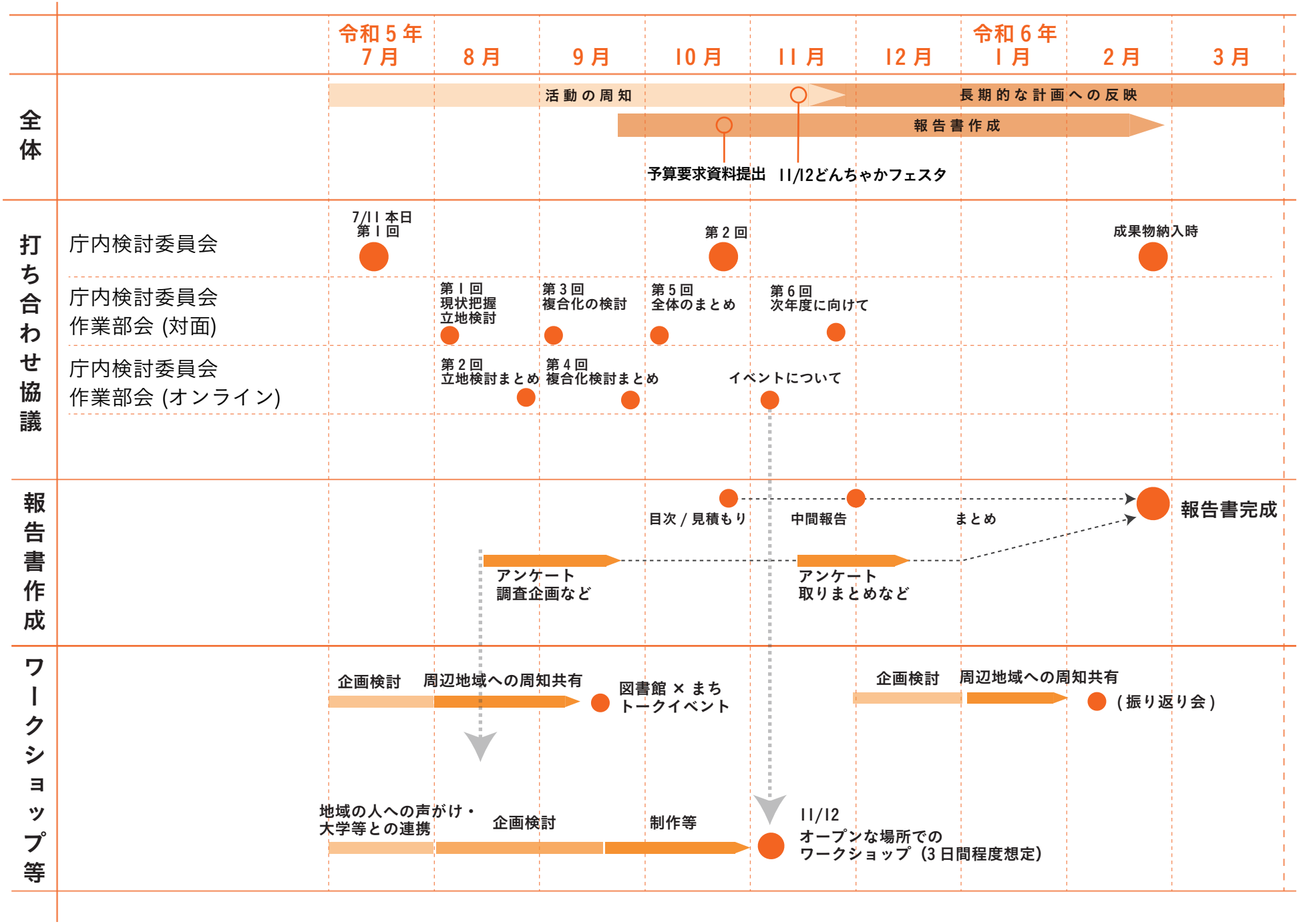


郷土資料館・カフェとしても使えるカウンター・移動図書館など市民の声を設計に取り入れた図書館

〈公共図書館をとりまく現状を踏まえて〉

今年度検討すべき項目

① 立地	・駅前計画 or 中心市街地内計画 ・新築計画 or 既存ビル改修計画 ・広場 /公園等との連携	等
② 複合化	・事業自体の目的の明確化 ・既存公共施設の再編 ・地元の文化・産業との連携	等
③ 整備手法	・サービス /コンテンツの検討 ・PPP(PFI含む)採用の有無 ・産官学民金の協働に基づく共創	等
④ 管理・運営	・市による直営 or 指定管理 ・地域内コミュニティ/活動との連携 ・図書館をハブとした情報サービスの検討	等


令和5年 7月
8月
9月
10月
11月
12月
令和6年 1月
2月
3月
全体
活動の周知
長期的な計画への反映
報告書作成
予算要求資料提出
11/12どんちゃかフェスタ
打ち合わせ協議
庁内検討委員会
7/11 本日 第1回
第2回
成果物納入時
庁内検討委員会 作業部会 (対面)
第1回 現状把握 立地検討
第3回 複合化の検討
第5回 全体のまとめ
第6回 次年度に向けて
庁内検討委員会 作業部会 (オンライン)
第2回 立地検討まとめ
第4回 複合化検討まとめ
イベントについて
報告書作成
目次 / 見積もり
中間報告
まとめ
報告書完成
アンケート 調査企画など
アンケート 取りまとめなど
ワークショップ等
企画検討
周辺地域への周知共有
図書館 × まち トークイベント
企画検討
周辺地域への周知共有
(振り返り会)
地域の人への声がけ・ 大学等との連携
企画検討
制作等
11/12 オープンな場所での ワークショップ (3日間程度想定)

地域とのつながりづくりのアイディア　その1

図書館×〇〇の可能性を考えるトークイベント

地域で活動する人たちや他都市の事例の紹介も交えながら、
活動の発信・共有とこれからを語る。

実施予定：9月の平日 2時間程度

実施場所：岸和田市立図書館or市有地、オンライン同時開催

実施内容：様々な取り組みがあることを地域の人たちに知ってもらう、これからを考えるためのきっかけづくり・PR

トークテーマ：岸和田のまちに関連する取り組みについて（大阪公立大学・和歌山大学など）
他都市の公共空間・図書館での取り組み紹介
図書館での取り組み（図書館）

ex)本 ×まちづくりを実践している人の紹介イベント

実績：ザ・3ブックス / FUTAMATA LIVER LIBRARY

ex)これからの「図書館 ×まち」の可能性について議論するイベント

実績：関内えきちか未来セッション（オンラインでの配信）

地域とのつながりづくりのアイディア　その2

オープンな場所でのワークショップ：〈これからの図書館を考える3日間〉

岸和田ってこんないいところがある！

まちなかでこんなことがしたい。

図書館ってそんなことやっていたんだ！

新しい図書館にはこれが欲しい・・！

実施予定：11/11（金）.12（土）.13（日）　11/12のどんちゃかフェスタの一部で開催，計3日想定

実施場所：南海本線岸和田駅前or 岸和田カンカンベイサイドモール内市有地など開けた場所/駅周辺

実施内容：ヒアリング・場づくりワークショップ

まちなかを練り歩いて、会議室の中や図書館内では拾えない意見に耳を傾けたり、

図書館や地域の人たちで行っている取り組みを発信する場を設けます。実施予定のイベント等との連携も検討

●練り歩きによる地域の人たちへの幅広いヒアリング

実績：シブヤホンマチ PLACEMAKING / 練り歩きヒアリング・ワークショップ・社会実験

●誰でも参加できる開かれた場をつくる

ex)本 ×〇〇の新たな出会いの生まれる場づくり

実績：ひらめきの図書館プロジェクト（関内さくら通りの道路活用実験）

ex)公共空間や人との関わり方のデザイン

実績：みっけるみなぶん 2（関内駅前の道路空間活用社会実験）

人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）概要

第１部　今後の地域における社会教育の在り方

＜地域における社会教育の目指すもの＞

１．地域における社会教育の意義と果たすべき役割～「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり～

多様化し複雑化する課題と社会の変化への対応の要請

- 人口減少、高齢化、グローバル化、貧困、つながりの希薄化、社会的孤立、地方財政の悪化、SDGsに向けた取組　等
  ⇒ 持続可能な社会づくりを進めるために、住民自らが担い手として地域運営に主体的に関わっていくことが重要
- 人生100年時代の到来、Society5.0実現の提唱　等
  ⇒ 誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現へ向けた取組が必要

社会教育：個人の成長と地域社会の発展の双方に重要な意義と役割

人づくり
自主的・自発的な学びによる知的欲求の充足、自己実現・成長

つながりづくり
住民の相互学習を通じ、つながり意識や住民同士の絆の強化

学びと活動の好循環

地域づくり
地域に対する愛着や帰属意識、地域の将来像を考え取り組む意欲の喚起
住民の主体的参画による地域課題解決

２．新たな社会教育の方向性 ～開かれ、つながる社会教育の実現～

住民の主体的な参加のためのきっかけづくり
社会的に孤立しがちな人々も含め、より多くの住民の主体的な参加を得られるような方策を工夫し強化

ネットワーク型行政の実質化
社会教育行政担当部局で完結させず、首長、NPO、大学、企業等と幅広く連携・協働

地域の学びと活動を活性化する人材の活躍
学びや活動と参加者をつなぎ、地域の学びと活動を活性化する多様な人材の活躍を後押し

開かれ、つながる社会教育へ

＜「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりに向けた具体的な方策＞

１．学びへの参加のきっかけづくりの推進

- 楽しさをベースとした学びや地域防災、健康長寿など、関心の高い学び等、学びや活動のきっかけづくりを工夫
- 子供・若者の参画を促し、地域との関わりの動機付けとなり得る成功体験づくり
- 社会で孤立しがちな人に対して、福祉部局等との連携により、アウトリーチの取組を強化
- 各地における具体的な取組の収集・共有、地域における活動の事例分析と周知

２．多様な主体との連携・協働の推進

- 首長部局との連携を効果的に図るため、総合教育会議の活用や、部局間の人事交流を推進
- NPO、企業、大学等と行政関係者との積極的な意見交換や協議
- 地域学校協働活動を核にした社会教育と学校教育の一層の連携・協働

３．多様な人材の幅広い活躍の促進

- 地域の課題解決等に熱意を持って取り組む多様な人材を社会教育の活動に巻き込み、連携
- 教育委員会における社会教育主事の確実な配置、多様な主体による「社会教育士」の取得推奨

４．社会教育の基盤整備と多様な資金調達手法の活用等

- 各地方公共団体における十分な社会教育費の確保を含めた基盤整備
- クラウドファンディング等の多様な資金調達手法の活用

第２部　今後の社会教育施設の在り方

＜今後の社会教育施設に求められる役割＞

社会教育施設には、地域の学習拠点としての役割に加え、以下のような役割も期待。
- 公民館：地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割、地域の防災拠点
- 図書館：他部局と連携した個人のスキルアップや就業等の支援、住民のニーズに対応できる情報拠点
- 博物館：学校における学習内容に即した展示・教育事業の実施、観光振興や国際交流の拠点

＜今後の社会教育施設の所管の在り方＞

このような中、地方公共団体から、地方公共団体の判断により、地方公共団体の長が公立社会教育施設を所管することができる仕組み（以下「特例」という。）を導入すべきとの意見が提出。これについて検討し、必要な措置を講ずる必要（「平成29年の地方からの提案等に関する対応方針」（平成29年12月26日閣議決定））。

生涯学習社会の実現に向けた横断的・総合的な教育行政の展開に向け、社会教育に関する事務については今後とも教育委員会の所管を基本とすべき。

一方、地方の実情等を踏まえ、より効果的と判断される場合には、地方公共団体の判断により地方公共団体の長が公立社会教育施設を所管できる特例を設けることについて、社会教育の適切な実施の確保に関する制度的担保が行われることを条件に、可とすべき。

◆ 特例を設けることについて

（他行政分野との一体的運営による質の高い行政の実現の可能性）
- 社会教育施設の事業と、まちづくりや観光等の他の行政分野の社会教育に関連する事業等とを一体的に推進することで、より充実したサービス等を実現できる可能性。
- 福祉、労働、産業、観光、まちづくり、青少年健全育成等の他の行政分野における人的・物的資源や専門知識、ノウハウ、ネットワーク等の活用により、社会教育行政全体を活性化できる可能性。
- 社会教育の新たな担い手として、まちづくりや課題解決に熱意を持って取り組んでいるがこれまで社会教育と関わりがなかった人材を育成・発掘できる可能性。

（施設の効果的・効率的な整備・運営の可能性）
- 首長部局が中心となって行っている社会資本整備計画等を通じた施設の戦略的な整備や、様々な分野が複合した施設の所管を一元化することによる、当該施設の効率的な運営の可能性。

◆ 社会教育の適切な実施の確保の在り方について

同時に、社会教育の適切な実施の確保（政治的中立性の確保、住民の意向の反映、社会教育施設としての専門性の確保、社会教育と学校教育の連携等）のためには、本件特例を設けるに当たり、教育委員会による関与など一定の担保措置※を講ずる必要がある。

※担保措置については、例えば、地方公共団体において所管の特例についての条例を定める際に、教育委員会の意見を聴くこととする、といった例が議論されたが、具体的な在り方については、国において、法制化のプロセスにおいて具体的に検討すべき。

◆ 地方公共団体において特例措置を活用する場合に留意が求められる点
- 特例が活用される場合でも、当該施設は引き続き社会教育施設であり、法令の規定を踏まえた専門的職員の配置・研修、運営審議会等を活用した評価・情報発信等が重要。
- 教育委員会は社会教育振興の牽引役として引き続き積極的な役割を果たしていくことが重要（総合教育会議等の活用、首長部局やNPO等との連携・調整等）。地方行政全体の中に、社会教育を基盤とした、学びを通じた人づくり・つながりづくり・地域づくりの視点を明確に組み込んでいくことが重要。

■新しい図書館に適した候補地について

【資料１】

新しい図書館のあり方	基本理念／コンセプト	**「人と人、情報がつながる知の拠点 ～よりあい、つながる、本の城～」 ／ 「市民共創の図書館」** （☞岸和田市図書館のあり方 P.21,28参照）
	基本理念を具現化する８つの指針	**①市民の自己実現、課題解決に役立つ図書館　②未来を担う子どもたちの成長を支える図書館　③地域資料の保存と活用を図り、地域づくりを支える図書館　④ネットワークの中枢となる図書館 ⑤インクルーシブ社会に対応した図書館　⑥ＤＸによる便利な図書館　⑦学び・出会い・つながりの場を創出する図書館　⑧オープンに、市民と一緒につくる図書館** （☞岸和田市図書館のあり方 P.21参照）
	保有すべき主な基本機能	**総合カウンター、開架・閉架書庫、一般書、児童書、雑誌、新聞、視聴覚資料閲覧ブース、情報検索ブース、対面朗読室、郷土資料展示・観覧スペース、会議室、多目的室、自習室**
考慮すべき要素	上記基本機能に応じた必要延床面積	**約2,300㎡（※１）～約3,700㎡（※２）** ※１　現在の本館延床面積（2,340㎡）による　　※２　先行事例から試算する必要面積による ※　10～15万人（本市将来人口）規模団体の「図書館面積から本市分館図書館面積を差し引いた面積」は約3,500㎡
	候補地選定条件	**●都市中核地域内であること ●上記の必要延床面積をもつ図書館を建設できること ●施設の集約・廃止・売却等の再編を検討中の市有地であること、または、施設誘致を検討中の市有地であること**

上記を踏まえて考えられる候補地	現地（＋岸城幼稚園地）	福祉総合センター未利用地	南海浪切ホール	中央公園プール地
候補地基本情報① 所在地	岸城町	野田町1丁目	港緑町	西之内町
周辺地図				
敷地面積	3,889㎡	6,437.99㎡	14,939㎡	8,000㎡
建設可能用途	第一種中高層住居専用地域（一部近隣商業地域）	近隣商業地域	準工業地域	第一種住居地域
建ぺい率・容積率	60%・200%	80%・300%	60%・200%	60%・200%
建築面積 上限	2,333㎡	5,150㎡	8,963㎡	4,800㎡
容積対象床面積 上限	7,778㎡	19,313.97㎡	29,878㎡	16,000㎡
※上記の各上限面積は建ぺい率、容積率しか考慮しておらず参考値であり、整備機能や施設規模を踏まえ規制の詳細確認が必要。（例：都市公園法の建築面積上限規制、図書館に集会室機能を整備する場合の建物周長の1/6の接道要件等）				
候補地基本情報② 総合計画上の位置付け	・コミュニティ単位（圏域）：都市中核地域 ・土地利用方針：都市区域 ・都市拠点に該当するエリア内	・コミュニティ単位（圏域）：都市中核地域 ・土地利用方針：都市区域 ・都市拠点に該当するエリア内	・コミュニティ単位（圏域）：都市中核地域 ・土地利用方針：臨海区域 ・工業・流通拠点に該当するエリア内	・コミュニティ単位（圏域）：都市中核地域 ・土地利用方針：都市区域
都市計画ＭＰ上の位置付け	・歴史・文化ゾーン	・都市中枢ゾーン	・交流・集客ゾーン	・生活・文化ゾーン
その他考慮すべき計画	・公共施設最適化計画 ・立地適正化計画（今後策定予定） ・幼保再編個別施設計画【後期】（今後策定予定）	・公共施設最適化計画 ・立地適正化計画（今後策定予定）	・岸和田市旧港地区の魅力づくり構想 ・公共施設最適化計画 ・立地適正化計画（今後策定予定）	・公共施設最適化計画 ・立地適正化計画（今後策定予定） ・みどりの基本計画
候補地の特徴	・岸和田駅に近接（約450m）するものの、大きな人流に接するエリアではないと考えられる。 ・岸和田城、五風荘などに近接し、歴史文化が薫るエリア ・岸和田市役所に近接 ・面積が候補地の中で最小であり、スペース（交流スペース、駐車スペースなど）に課題がある。	・岸和田駅に近接（約330m）し、大きな人流に接すると考えられる。【要検証】 ・当該地は隣接して事務所や商店、住宅が混在している。現在、駅西側から旧港地区へは商店街が形成され、人流は西側から旧港地区へと向かっている。当該地を包含する東側は立ち寄る施設がなく、目的地への通過点となっている。 ・民間活用も考えられるが、その検討は進捗していない。	・広域連携軸（府道大阪臨海線）に接し、自動車等での移動が便利なエリア ・商業施設（カンカンベイサイドモール）、Kishi-Bizに隣接	・中央公園、総合体育館、マドカホールに近接し、スポーツや文化など生涯学習との連携が見込めるエリア
他市の参考事例	・豊中市立東図書館（大阪府豊中市） ※認定こども園と図書館の複合施設	・塩尻市民交流センターえんぱーく（長野県塩尻市） ・安城市中心市街地拠点施設アンフォーレ（愛知県安城市）	・図書館交流プラザりぶら（愛知県岡崎市） ・中心市街地中核施設Mallmall（宮崎県都城市）	・江坂公園・江坂図書館Park-PFI（大阪府吹田市）

■新しい図書館の姿と今後の検討課題について

【資料２】

候補地		現地（＋岸城幼稚園地）	福祉総合センター未利用地	南海浪切ホール	中央公園プール地
各候補地で実現できる図書館の姿	基本理念／コンセプト	「人と人、情報がつながる知の拠点 ～よりあい、つながる、本の城～」 ／ 「市民共創の図書館」 （☞岸和田市図書館のあり方 P.21,28参照）			
	候補地の特徴を活かす追加コンセプト	＋ 教育・歴史文化振興の拠点	＋ 中心市街地のにぎわいを創出する 人づくり・まちづくりの拠点	＋ 臨海部のにぎわいを創出する 産業・文化の交流拠点	＋ 文化とスポーツ・生涯学習の拠点
		＜アピールポイント＞ ●認定こども園との複合施設となるので、乳幼児をターゲットとした読み聞かせ専用の「おはなし広場」などを設け、乳幼児から本に親しむ環境を作ることで、読み聞かせが子どもの成長にどのように影響するのか等、調査分析が可能となる。 ●子ども読書活動推進事業の拠点施設として、家庭、学校、地域と連携し、学力向上に向けたソフト事業を充実させる。 ●歴史・文化ゾーンの立地を活かし、地域資料、行政資料の保管・展示・閲覧・アーカイブ機能を充実させ、周辺の資源・機能との連携を図る。	＜アピールポイント＞ ●岸和田駅周辺の活性化は、都市全体の活力向上の観点からも極めて重要。そこで、集客機能を付加した図書館を整備することで、人の流れをつくりかえ（活性化し）、この効果を近接する商店街をはじめ、中心市街地全体へと波及させる。特に若い世代（子育て世代、学生など）を集客することにより、雰囲気が若返り、いきいきとした駅周辺づくりにつなげる。 ●市で抱える諸課題を幅広く改善し、市の中心・玄関口にふさわしく、市の明るい未来を切り拓くような図書館をめざす。	＜アピールポイント＞ ●既存の文化施設や大学サテライトとの連携により、市民が自ら学び、活躍できる知的活動拠点として、相乗効果を生み出す交流拠点施設をめざす。 ●隣接する商業施設と連携して、「学ぶ」「遊ぶ」「交流する」場の創出や、Kishi-Bizと連携した取組を行うことで子育て世代の定住促進を図る。 ●特定の目的を持たない人流を図書館に呼び込む可能性がある。	＜アピールポイント＞ ●文化施設やスポーツ施設、公園施設との連携を行うとともに、公民館機能を取り入れることで、文化・スポーツ・生涯学習の一大拠点の形成をめざす。 ●また、個々の施設（文化施設、スポーツ施設、公園施設、エリア内の施設）を訪れた多様な人々を引き込み、新たな情報にアクセスできる図書館づくりを行う。 ●特定の目的を持たない人流を図書館に呼び込む可能性がある。
	追加コンセプトに対応して必要となる追加機能例	子どもたちが読書に親しめるスペース、デジタル技術を活用した展示スペース、学校図書支援機能、郷土史普及機能	交流スペース（交流広場など）、くつろぎスペース、活用しやすい自習・学習スペース、キッズスペース、市民活動スペース、編集・録音スタジオ、市の情報・展示スペース、一時保育などの子育て支援スペース、カフェ	市民活動スペース、展示スペース、コワーキングスペースなど	交流スペース（交流広場など）、くつろぎスペース、活用しやすい自習・学習スペース・キッズスペース、編集・録音スタジオ、市の情報・展示スペース、カフェ
	市で抱える課題解決への寄与	・子どもの教育環境の向上（学力/体力向上） ・市民による地域活動の活性化 ・子育て世代の定住促進とまちのイメージアップ ・ 産業の活性化 ・ 適切な拠点形成とアクセス性向上 ・ スマートシティ・環境保全・DX等推進 【参考】市で抱える課題解決への寄与（寄与度設定に関する補足資料参照）			
今後の検討課題	全候補地の共通課題	**●公共施設マネジメントの観点から、他施設機能との重なりを整理した上で、施設の複合化による市全体の面積総量の削減が必要。（⇒本資料にて次ページ記載）** **●整備コストを最適化する整備手法等の検討が必要。（⇒Ｒ６年度以降の検討課題）**			
	各候補地の個別課題	・隣接する岸城幼稚園を含めた４施設の再編による認定こども園設置を計画しており（R12開園目標）、図書館の動向（移転・複合化など）が大きく影響する。	・特に地元との調整を要する。（地元の意向により、商店街側を出入口とすることができない。） ・福祉総合センターを整備した際に活用した国庫補助金の関係により、当時の計画内容との整合を図る必要がある。 ・策定予定の立地適正化計画との連携が必要【関係課：交通まちづくり課】 ・現在、駅東側を活性化させるための計画・施策はないため活性化のための計画・施策が必要。 ・旭図書館と距離が近くなる。	・浪切ホールの指定管理期間はR9年度までであり、図書館の必要スペースが確保できるのか、供用継続しつつ移転工事が可能であるのか等の詳細な検討が必要。 ・浪切ホール単独で約27,000㎡の面積があり、類似人口団体の文化施設総面積よりも大規模となっている。 ・浪切ホールの施設自体の老朽化が進んでいる。	・今後策定される中央公園全体の整備方針との整合を図る必要がある。【関係課：水とみどり課】 ・都市公園法の公園施設整備上限の範囲内で整備する必要がある。 ・都市中核地域内ではあるが、北部地域に隣接しており、都市中核地域全体でみたときにバランスが悪い。 ・春木図書館との距離が近くなる。

候補地		現地（＋岸城幼稚園地）	福祉総合センター未利用地	南海浪切ホール	中央公園プール地
他施設との複合可能性	留意点	**●複合化が検討できる公共施設（こども園、公民館、文化施設等）の今後のあり方に関する検討スケジュールが、現状、本件と一致していない。（⇒施設ごとの状況は後述）** **●候補地・複合化候補施設を決定してから、必要な機能と施設規模を決定する必要があり、その後、想定される余剰面積を踏まえて、民間施設とのさらなる複合化の可能性についてサウンディング等により検討する必要がある。**			
	複合化が検討できる施設類型	認定こども園、教育センター	公民館／博物館／学術機関	文化施設／学術機関	文化施設／公民館／スポーツ施設／博物館
	複合化候補施設	公立認定こども園、教育センター	中央地区公民館、自然資料館	浪切ホール	マドカホール、城北地区公民館、 新条地区公民館、自然資料館
	複合化候補施設と重複する機能	会議室（研修室）	・展示・観覧スペース、多目的室（公民館、自然資料館） ・会議室（公民館） ・自習室（公民館）	・展示・観覧スペース、会議室、多目的室（浪切ホール）	・展示・観覧スペース（マドカホール、公民館、自然資料館） ・会議室、多目的室、自習室（公民館）
	複合化候補施設延床面積	・公立認定こども園　1,500㎡（敷地1,750㎡） ・教育センター　630㎡（敷地1,902㎡）	・中央地区公民館　2,458㎡（敷地1,158㎡） ・自然資料館　1,602㎡（敷地1,386㎡）	・浪切ホール　27,159㎡（敷地14,939㎡）	・マドカホール　6,122㎡（敷地9,658㎡） ・城北地区公民館　1,056㎡（敷地2,111㎡） ・新条地区公民館　1,077㎡（敷地2,558㎡） ・自然資料館　1,602㎡（敷地1,386㎡）
	複合化した場合の最大延床面積 （新図書館＋複合候補施設）	5,830㎡	7,760㎡以下 （重複機能があるため「以下」としている）	30,859㎡以下 （重複機能があるため「以下」としている）	12,817㎡以下 （重複機能があるため「以下」としている）
	複合化検討における課題	**・公立認定こども園の早期開園の観点から、図書館の動向（移転or現地複合化）をできるだけ早く決定する必要がある。【関係課：こども園推進課】**	**・他施設との機能の重複について整理する必要がある。【関係課：生涯学習課、郷土文化課】**	**・文化施設のあり方に関する検討については、R7年度の整理が予定されており、新図書館の検討スケジュールと一致していない。【関係課：文化国際課】**	**・文化施設のあり方に関する検討については、R7年度の整理が予定されており、新図書館の検討スケジュールと一致していない。【関係課：文化国際課】**
	【参考】コンセプトに関連する周辺の公共施設（半径800m以内）	岸城幼（隣接）、中央公民館（約300m）、中央小（約360m）、岸城中（約600m）、城内小（約620m）、東光小（680m）、浜幼（約740m）、浜小（約800m）	福祉総合センター/市民活動サポートセンター（隣接）、シルバー人材センター（約250m）、保健センター（約560m）	自然資料館（約420m）、中央公民館（約570m）、光陽公民館（約600m）、自泉会館（約640m）、まちづくりの館（約700m）、観光交流センター（約740m）、だんじり会館（約800m）	中央公園テニスコート（隣接）、総合体育館（隣接）、マドカホール（約170m）、屋内温水プール（未定）
	財源措置	●図書館単独整備に係る国補助金なし。 ●公共施設適正管理推進事業債（充当率90%、交付税措置50%、現状R8までの措置）の集約・複合化事業は活用可能。 ●ただし、図書館規模を現状より大規模とすることを想定していることから、活用するためには、その他公共施設と集約・複合化のうえ、集約・複合化前の総面積から面積が減少させることが必須となる。 ●例えば、現状の図書館は2,340㎡であるところ、仮に先行事例から試算する必要面積3700㎡の図書館を整備した場合、他の公共施設との集約・複合化において、1,360㎡以上の削減が必要となる。 よって、上記例の場合、いずれの複合化の場合でも、重複機能の解消等により、1,360㎡以上の削減効果がある公共施設の集約・複合化を実現する必要がある。			

■【参考】市で抱える課題解決への寄与（寄与度設定に関する補足資料）

※以下では、総合計画「将来ビジョン・岸和田」第１期基本計画における重点目標の設定経過を踏まえ、課題として整理し記載している。

※また、図書館がもたらす本来の効果を超えて、副次的に市の課題に寄与できるかという視点で整理している。

	現地（＋岸城幼稚園地）	福祉総合センター未利用地	南海浪切ホール	中央公園プール地
子どもの教育環境の向上 （学力・体力向上） 【重点目標１】	・学力向上に向けた仕掛けなど、ソフト面での強化が可能 ・子ども読書活動の拠点とすることで、学力向上への効果が見込める	・学力向上に向けた仕掛けなど、ソフト面での強化が可能 ・駅や学習塾など、学習する世代が多く利用する場所に学習に資する機能を設けることでさらなる効果が見込める（学力向上）	・学力向上に向けた仕掛けなど、ソフト面での強化が可能	・学力向上に向けた仕掛けなど、ソフト面での強化が可能 ・スポーツ施設との連携により、さらなる効果が見込める（体力向上）
市民による 地域活動の活性化 【重点目標３】	・図書館ラボの実践を通じて得た知見により、ソフト面での強化が可能	・図書館ラボの実践を通じて得た知見により、ソフト面での強化が可能 ・隣接する市民活動サポートセンター（福祉総合センター内）との連携により相乗効果が見込める	・図書館ラボの実践を通じて得た知見により、ソフト面での強化が可能	・図書館ラボの実践を通じて得た知見により、ソフト面での強化が可能
子育て世代の定住促進と まちのイメージアップ 【重点目標１】	・子育て支援に資する機能を確保するための敷地面積が限られる ・駐車スペースが限られる ・認定こども園との連携は想定できるが、利用者が限定的	・十分な面積・アクセス性があり、子育て支援に資する機能の検討が可能 ・広い敷地面積を活かした交流スペースなどの検討が可能	・十分な面積・アクセス性があり、子育て支援に資する機能の検討が可能 ・文化施設機能、隣接する商業施設との連携による相乗効果が見込める	・十分な面積・アクセス性があり、子育て支援に資する機能の検討が可能 ・文化施設機能、隣接する公園施設との連携による相乗効果が見込める
産業の活性化 【重点目標２】	・産業機能が近接していない	・駅前商店街が近接しており、連携可能性がある	・隣接する商業施設やKishi-Bizとの連携により相乗効果が見込める	・産業機能が近接していない
適切な拠点※形成と アクセス性向上 【重点目標２】 ※総合計画基本構想 P.48参照	・都市拠点に該当するが、アクセス性の向上への寄与が低いなど、他の資源・機能との相互活性化に乏しい	・都市拠点の中心である中心市街地の相互活性化に資する ・岸和田駅を中心とした地域公共交通の利用増加につながる	・都市拠点に該当し、文化・商業機能との一定の相互活性化が見込める ・アクセス性の向上への寄与は低い	・拠点に該当しない
スマートシティ・ 環境保全・DX等推進 【重点目標３】	・環境やデジタル技術に配慮した図書館づくりが可能	・環境やデジタル技術に配慮した図書館づくりが可能	・既存施設の活用のため、環境やデジタル技術に配慮した図書館づくりには限界がある	・環境やデジタル技術に配慮した図書館づくりが可能

複合化候補施設と立地に係る分析

【資料３】

		現　地（+岸城幼稚園地）	福祉総合センター未利用地	南海浪切ホール	中央公園プール
利用者数	複合化候補施設 年間利用者数 ※候補地選定時の 候補施設	こども園：（園児120人＋保護者）×日数 教育センター：6,730人（H31公共施設ｶﾙﾃ）	市立公民館：25,116人（H31公共施設ｶﾙﾃ） 自然資料館：20,790人（H31公共施設ｶﾙﾃ）	南海浪切H：579,641人（H31公共施設ｶﾙﾃ）	マドカホール：103,825人（H31公共施設カルテ） 城北地区公民館：30,878人（H31公共施設カルテ） 新条地区公民館：17,609人（H31公共施設カルテ
	隣接公共施設 年間利用者数	※参考：図書館本館：80,335人 （R3　図書館のあり方）	福祉総合C：214,753人(H31公共施設ｶﾙﾃ)		中央公園：約730,000人（総合体育館等含む） （水とみどり課HPサウンディング調査資料）
	上記施設に係る 不特定多数の利用	施設使用目的（保育・教育相談等）をもって上記施設に来館	主に施設使用を許可された市民が上記施設に来館する ※駅利用は目的のある移動であり通過点（庁内アンケート結果）	主に施設使用を許可された市民が上記施設に来館する	公園が不特定、かつ多数の利用を前提とした施設である （使用許可が伴わない利用者が多い）
	最寄り分館・直線距離	旭図書館/約1,600m	旭図書館/約1,200m	旭図書館・春木図書館/約2,400m	春木図書館/約1,100m
	最寄り分館・利用者数	旭図書館/30,832人	旭図書館/30,832人	旭図書館/30,832人、春木図書館/37,814人	春木図書館/37,814人
圏域人口等	1km圏域人口	26,384人	24,683人	13,950人	24,454人
	2km圏域人口	60,603人	71,258人	50,806人	91,863人
	3km圏域人口	109,133人	124,930人	94,625人	143,791人
	4km圏域人口	159,478人	166,518人	142,634人	175,061人
	5km圏域人口	173,298人	178,062人	166,548人	183,562人
	6km圏域人口	183,588人	185,279人	178,751人	186,280人
	人口重心からの距離	2.1km西	1.6km西	2.6km西	1.1km北
交通	最寄りバス停からの 直線距離	南海バス（上古城）約250m ローズバス（市役所前）約300m	南海バス（岸和田駅）約170m ローズバス北・南（岸和田駅）約170m	南海バス（港緑町）約230m ローズバス北・南約230m	南海バス（裁判所前）340m ローズバス（小松里町北総合体育館）290m
	最寄り鉄道駅からの 直線距離	南海本線岸和田駅南口約280m JR阪和線東岸和田駅約1500m	南海本線岸和田駅中央口約220m JR阪和線東岸和田駅約1200m	南海本線岸和田駅約950m JR阪和線東岸和田駅2300m	南海本線春木駅約970m JR阪和線久米田駅約900m
	前面道路車線数・幅員	２車線・8.3m	２車線・13.0m	４車線・臨海線	２車線・7.1m
	駐車可能台数（現施設）	図書館：16台／岸城幼：０台／教育C：10台	福祉総合センター：140台／福祉総合センター未利用地：設計内容による	南海浪切ホール：220台	マドカホール：130台／中央公園（全体）：450台／城北公民館：19台／新条公民館：20台
防災	防災ハザード	津波・洪水・土砂・高潮ハザードエリア対象外	津波・洪水・土砂・高潮ハザードエリア対象外	津波・洪水・土砂・高潮ハザードエリア対象外 ※敷地周辺はハザードエリア内	津波・洪水・土砂・高潮ハザードエリア対象外
	避難所	指定なし	福祉総合センター：指定避難所	浪切ホール：指定避難所・津波避難ビル	総合体育館・マドカホール：指定避難所 中央公園：広域避難場所・指定緊急避難場所
複合化候補施設	複合化候補施設と 図書館基本機能で 重複する機能	会議室（教育C）	展示・観覧スペース・多目的室（自然資料館・公民館） 会議室、自習室（公民館）	・展示・観覧スペース・会議室・多目的室 （浪切ホール）	展示・観覧スペース、会議室、多目的室（マドカホール、公民館）、自習室（公民館）
	建設年度	教育センター：S56（築42年） 公立認定こども園：今後建設	市立公民館：H13年（築22年） 自然資料館：H7年（築28年） （参考）福祉総合センター：H29年（築６年）	南海浪切ホール：H13年（築22年）	マドカホール：S59年（築39年） 城北地区公民館：S47年(築51年) 新条地区公民館：H11年（築24年） （参考）総合体育館：H8年（築27年）
	施設特記事項	教育センター：現時点で再編予定なし 公立認定こども園：R12年度までに整備を計画	本市の公民館延床面積は約22,000㎡であり、人口15～20万人規模団体51団体の公民館延床面積中央値が約11,000㎡程度であることから、約２倍程度の面積を保有。	浪切ホール単独で、約27,000㎡保有しており、今後も供用を継続する場合、類似人口規模団体の２倍程度の施設を保有し続けることになる。	本市の文化施設延床面積は約34,000㎡であり、人口15～20万人規模団体51団体の文化施設延床面積中央値が約14,000㎡程度であることから、2.4倍程度の面積を保有。
スケジュール	複合化候補施設の 再編検討スケジュール の状況	認定こども園：R12までに認定こども園開設予定 （R6以降の後期計画策定時までに候補地確定） 教育センター：現時点で供用継続予定 →後期計画策定までに認定こども園との複合化、施設規模を決定する必要がある。 →現地建替を行う場合は、本館機能を仮移転させる必要がある。	公民館：R7年度第２期公民館等再編計画策定予定 ※現時点で、市立公民館の再編・集約化想定はなし 自然資料館：あり方検討中 →R7年度の２期計画策定までに、市立公民館との複合化を決定する必要がある。	文化施設：R7年度方向性整理予定（内部作業） （行革プラン進捗管理シートによる） →R７年度の方向性整理の視点に図書館機能の統合を加えて、合わせて検討する必要がある。 ①浪切H存続、文化会館の機能・役割を統合 ②文化会館存続、浪切Hの機能・役割を統合 ③浪切H、文化会館、それぞれの機能・役割を存続	公民館：R7年度第２期公民館等再編計画策定予定 →城北・新条機能集約検討をR5年９月策定の１期計画で明示しており、２期計画策定までに検討。 文化施設：R7年度方向性整理予定（内部作業） （行革プラン進捗管理シートによる） 中央公園：今後中央公園再整備方針作成予定
	民間商業施設との 複合化の可能性 （公共施設複合化あり）		複合化対象が未定であるが、図書館・市立公民館・自然資料館の現状合計面積が7760㎡であり、容積対象床面積上限が19,313.97㎡であることから、上記施設の複合化の場合、集約化を踏まえて、民間商業施設の整備の実現可能性はある。		都市公園内であり、Park-PFIの手法により、公園機能を高める民間収益施設を設置することは可能。 （ただし、都市公園法上限規制等を踏まえた規模等の調整等が必要）
	民間商業施設との 複合化の可能性 （公共施設複合化なし）		公共施設の複合化による面積削減がなければ、公共施設適正管理推進事業債（充当率90%、交付税措置50%）が活用できず、活用するためには、図書館面積を現状より削減しなければならない。		公共施設の複合化による面積削減がなければ、公共施設適正管理推進事業債（充当率90%、交付税措置50%）が活用できず、活用するためには、図書館面積を現状より削減しなければならない。

資料6

岸和田まち歩きワークショップ

-まちなかを歩きながら調査する-

大阪公立大学工学部建築学科3年生 学生20名と先生・スタッフ4名 +岸和田市立図書館スタッフ
+オンデザインスタッフで中央公民館の多目的ホールをお借りして、
9月28日(水)「岸和田まち歩きワークショップ」を開催しました。学生5.6人ずつ4班に分かれて、
エリアを決めてまち歩きをして、現地で得られた情報や事前説明の情報から岸和田のまちの可能性について考えました。

Q.なんのためにまち歩きワークショップをするの?

これからの図書館やまちのことを考えるために、まず現状のまちのことを知るためだよ!

まち歩きで見つけてくること

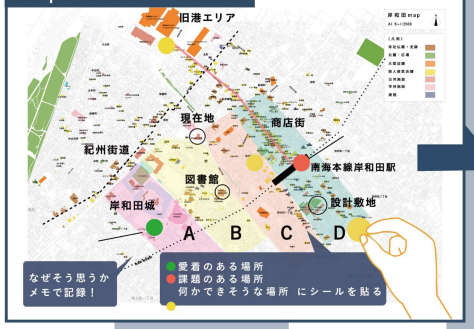
●いいなと思う使われ方・場所
ex)お店の前を使って空間づくりをしている

●いいなと思ったお店
ex)カフェ、ギャラリー

●まちにいた面白い人
ex)クリエイターさん、面白い店主さん

-ワークショップの流れ-

step1: 岸和田のまちを知る



step2 まちについて思ったことをシェア

step3 岸和田にどんなもの・こと・過ごし方があったら良いか、みんなで考える

まち歩きで見えてきた良いところや課題点から
どんなことが岸和田でできると、より良くなるのかideaを出す

step4 全体で発表会

全体にそれぞれのエリアの特徴と
これからできそうなことを発表する

学生

商店街には色んなお店があって良いが、シャッターがしまっている店も多い。別の使い方ができるのではないか。
商店街にはたくさん人がいたが、駅東側にはほとんど人が歩いていない。上手く繋げる方法はないだろうか。

学生

歩いていると公園がたくさんあった。平日なので、人はいなかったが憩いの場としては使えそう。まちにみんなが溜まれる場を作れるといいな。

図書館

図書館の利用者は減少傾向にあり、利用者層は子どもと子育て世代が中心です。岸和田市は交通アクセスが良く、海から山まで自然が豊かなまちです。歴史的な街並みも残っており、魅力あるまちなのですが、あまり知られていません。新しい図書館は人と人、情報がつながる「知」の拠点を目指しています。学生のみなさんのアイディアで誰でも気軽に利用できる未来の「メディアプレイス」をデザインしてみてください。

西野先生

まち歩きを通して、魅力的に見えるもの、お祭りでしか使われない場所があったり、もっとこうしたら使えそう、よくなりそうというところなど、これからのまちの魅力に繋がりそうな、余白の空間がたくさんあることが分かりましたね。使う人の色んな視点を考えてあげること、未来の図書館(メディアセンター)を考える時にどうやったら地域の人たちに使ってもらえるのか、どういう空間が必要とされるのか、を考えていく必要がありますね!

岸和田map

AI S=1:2500

〈凡例〉

- 寺社仏閣・史跡
- 公園・広場
- 大型店舗
- 個人経営店舗
- 公共施設
- 学校施設
- 病院

- 愛着のある場所
- 課題のある場所
- 何かできそうな場所

〈岸和田駅前通商店街〉

・音楽 shop young
入口が透明なカーテンで
仕切られていて、中の様子は見えるが（だんじり用なのか？）境界線がわかりやすい工夫がされていた。

・洋服屋さんの店先で奥様たちがおしゃべりしている風景が見られた。

・道幅が広く、一歩入ると路地と住宅街が広がっている

・壁に囲まれた場所、海外のようなビビット色が見られる場所、迷路のような路地空間が魅力的

〈府道39号周辺〉
・車通りが多い
・駅に近いからか、駐車場
駐輪場が多い
・病院が多い

〈市役所・図書館 周辺〉

・高校や幼稚園があるが、公園や広場が少ない。南側には空き地があったので活用できると良い。

・図書館横の幼稚園が
アクセスしにくい。動線を工夫したらもう少し何かできそう。

高低差がある

〈岸和田城 周辺〉

・木造古民家・瓦屋根で
歴史を感じられる建物が多く
風情ある街並み

・お堀の中にゴミがたくさん
・平日昼ということもあるが
観光客はほとんどいない
・観光客が
食べ歩けるような場所はなかった
・溜まれる場所がない

〈新しい民家が多いエリア〉
・城周辺に比べると公園などが少ない
・道は狭め
・もう少しお店があると良い

〈宮本町・城見橋筋商店街〉
・空き家が多く・密集している
・お花屋さんの周りには、高齢者の集まる場ができていた

・宮本福祉サポートカーネーションが高齢者の憩いの場になっている。道にせり出して美味しそうなパンを売っている。

(idea)
空き家になった長屋を改修して、学校帰りの学生たちが溜まれる場を作ったら良いのでは。

道沿いにも客席があって
通行人との距離が近い

(idea)
駅前の広場や空き地を使って南北をつなぐものが何かできないか。

岸和田駅の南北で人の多さが異なる
商店街側の北は歩行者・自転車利用者が多く、南側は車の通行量が多い。

信号待ちの人が休めるような
木々とベンチがある。
レター BOX もある。

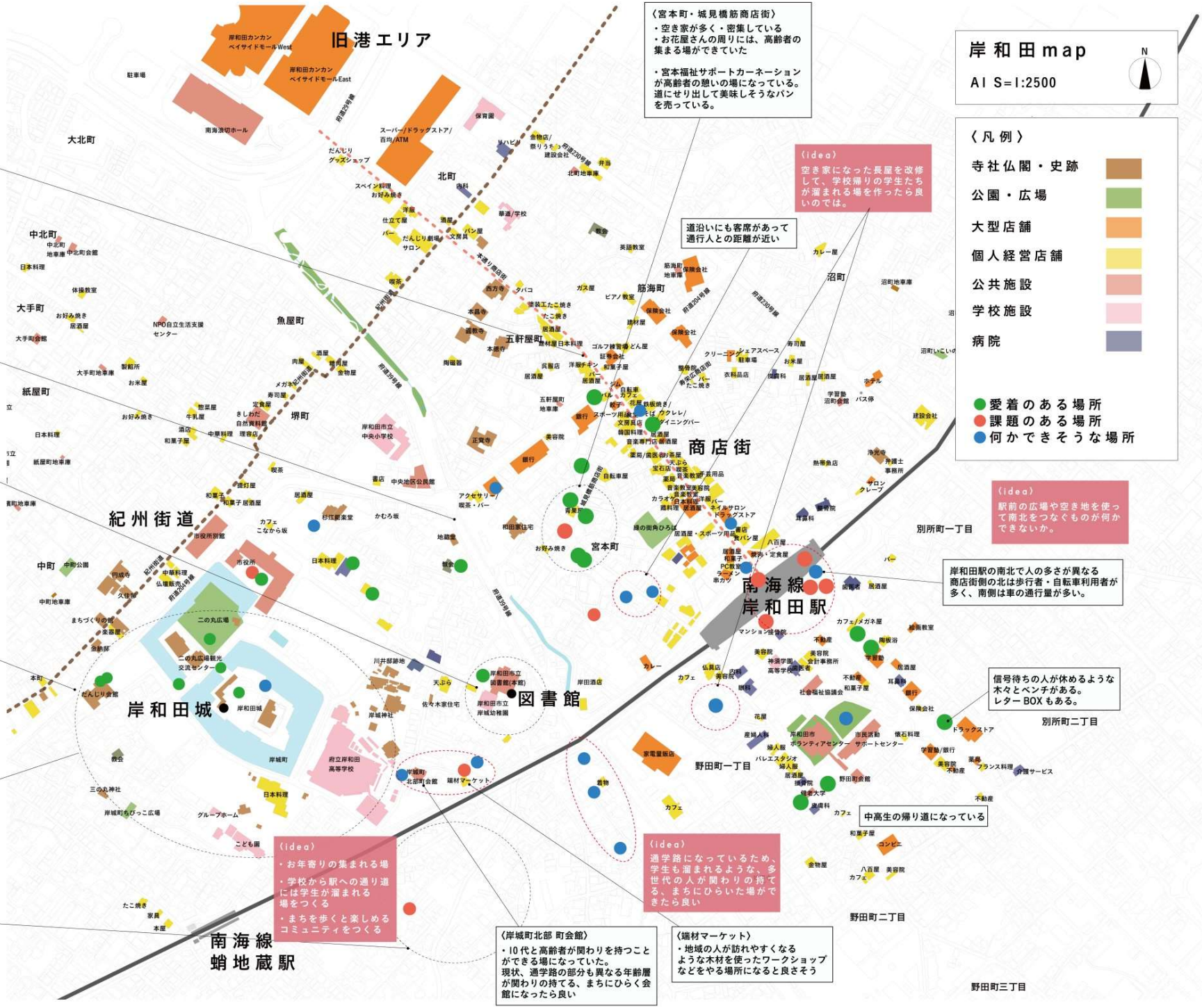
中高生の帰り道になっている

(idea)
・お年寄りの集まれる場
・学校から駅への通り道には学生が溜まれる場をつくる
・まちを歩くと楽しめるコミュニティをつくる

(idea)
通学路になっているため、学生も溜まれるような、多世代の人が関わりの持てる、まちにひらいた場ができたら良い

〈岸城町北部 町会館〉
・10代と高齢者が関わりを持つことができる場になっていた。
現状、通学路の部分も異なる年齢層が関わりの持てる、まちにひらく会館になったら良い

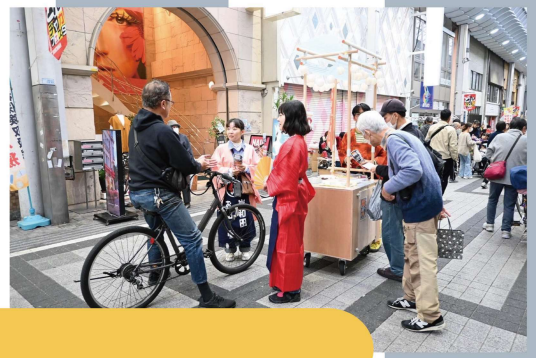
〈端材マーケット〉
・地域の人が訪れやすくなる
ような木材を使ったワークショップ
などをやる場所になると良さそう



岸和田お話し屋

-図書館とまちの未来を考える取り組み-

11月12日(土)・13日(日)に図書館から出て、まちなかを歩いている人たちにインタビューする形で
岸和田のまちの好きなところ・よくいくところ・課題だと思うところ・もっとこうなったら良いなと思うところを
聞いてまわりました。13日はドンちゃかフェスタと古本市の間に場所を作り、大阪公立大学 工学部建築学科3年生による未来の図書館を
考える設計課題の模型展示も行いました。未来の図書館を見ながら、通りがかる人たちとこんな図書館、こんなまちになったら良いなという
たくさんの方からのお話を伺いました。ご参加いただいた皆さまありがとうございました！



たんじりが大好き！
歴史を大事にしたい。

子どもたちがいられる場所が欲しい！

子どもから、大人まで
通りかがりに、自転車に乗りながら
お散歩の途中に、まちの好きなところから
課題に思っていることまで
様々な世代の方からのご意見いただきました。

主催：岸和田市立図書館
協力：オンデザイン／大阪公立大学 工学部建築学科

-集まったまちの人たちの声-

集計結果：アンケート回答数75件（一部抜粋して掲載）

岸和田の好きなところ

70代・岸和田在住 姉妹
@どんちゃかフェスタ

宮本町から宮本町にお嫁にいった！
孫が６人いて岸和田は大好き。

子ども +40代・近隣市在住
@だんじりショップ前

だんじりが大好き！！
だんじりショップに
よく来るよ！

60代・岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

趣味でだんじりジオラマ作っているよ！！駅前商店街がもっと賑やかになるといいのに・・買い物は春木にいく。だんじりジオラマのお店やってみたい。

80代・元岸和田在住
@南海岸和田駅前

岸和田は山と海があって良い！
お城が遊び場だった！！
涼しくて、眺めもよかったな。

よく行くところ

70代・難波在住
@南海岸和田駅前

岸和田に来たら絶対に
竹利商店の
むらさめを買って帰る！
歌手 吉川真澄さんが
好きでよくくる。

50代・岸和田在住
@南海岸和田駅前

人のつながり！住めば住むほど
好きになる！音楽もできる
図書館になったら嬉しいな。

10代・30代 岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

岸和田城！！

駅前を活性化してほしい。
スーパーがあったり、子どもが過ごしやすくしてほしい。岸和田より、泉大津に行ってる。

50代・難波在住
@どんちゃかフェスタ

岸和田が好きで歴史まち歩きのために
毎週来てる！海の幸・山の幸・歴史のまち。
まだ知られていない話もある。
（一休さんが岸和田の街に来たとか）
図書館に昔の史料を見に来ていているが、調べたい本が閉架書庫にあり、読みにくい。もっと気軽に見れたらいいのに。
あとは最近の本がもっと読めるといいな。

30代・岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

蜻蛉池公園が好き！
他の図書館で子どもが犬に
読み聞かせをしたりしていた。
お庭があって動物とも
触れ合える場所があったらいいな。

高校生・岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

自習できる施設が欲しい！
スーパーやマクドが近くにある
泉大津図書館によくいってる。
そういう図書館あったら行くなあ
商店街のバイクのスピードが早くて
危ない・・気をつけてほしい。

30代・岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

娘が図書館の自習室を
使っているけど、
図書館内が暗い。蔦屋のような
カフェで過ごしたい。

60代・岸和田在住
@南海岸和田駅前

お城を見ながら散歩したりしてる。
地域の繋がりを大切に若い人たちも
のびのびと暮らせるまちづくりをしたい。
お祭りの伝統も大事ですが、岸和田の
未来も大事。行政については、
各課だけではなく、実現可能な岸和田市
をイメージして、横の繋がりを
大切に業務を行ってほしい。

こんなことできたらいいな

50代・岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

手話ができる喫茶店
とかあるといいな！
だんじり以外のまち
の情報発信できると
good！！

30代・大阪在住
@どんちゃかフェスタ

グレーゾーンのある
図書館があったらよいな！
「映画 ×bar× 市民芸術」
など、本と映画について
語る会とか開きたい。

60代・岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

和歌山のような一日過ごせる
図書館があると良い。

50代・岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

野田公園によく行く。子どもが
少し騒いでも良いスペースのある
図書館が良い！

30代・大阪在住
@どんちゃかフェスタ

中之島や泉大津の図書館はゆっくりできて良い。岸和田の図書館はちょっと狭いと感じる。

課題と思うこと

60代 岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

地の人が多くて区画整理が進まない・・
今の図書館は駅から少し離れているし、
仕事帰りには寄れない。
中央公園の横なら良いのに。
テーマパーク性を持たせて目当てに来るなど
工夫しないと。行政の自己満足だと思う、
コンセプトが大事！！

50代・岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

図書館や堺町公民館にはよく行く。去年岸和田城の横で開催したようなイベントで地元マルシェなどと合わせた自由に参加できるような読書会を開いてほしい。図書館で開催されているものはいまいち分かりにくく参加しにくい。
だんじりの文化は大切だけど、外から転居してきたので、
だんじりの雰囲気に入り込めない時がある。だんじり以外の新しい文化もあったら良いと思うし、つくりたい！

60代・岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

駅前が寂しい。山手は色々増えてきているのに、市庁舎も移転しなかったし、さらに空洞化が進んでしまう。財政の使い方を見直してほしい。剣道場も壊されたり、図書館をつくるならもっと市民の声を聞いて考えた方が良いのではないか。

40代・岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

街の情報が一括で把握できる
サービス or 場所があったら
良いな。今は全体が分かりにくい。

70代女性 岸和田在住
@どんちゃかフェスタ

泉大津は発展！岸和田は？
お城でイベントがあるのは嬉しい！
岸和田にはだんじり以外もたくさん
ある！！
外国人も増えた！
元々かじやまちもアーケードがあっ
たけどなくなって雨に濡れてしまう。
商店街にもっと活気溢れたらいいな。

みなさんのお話聞かせて！！